

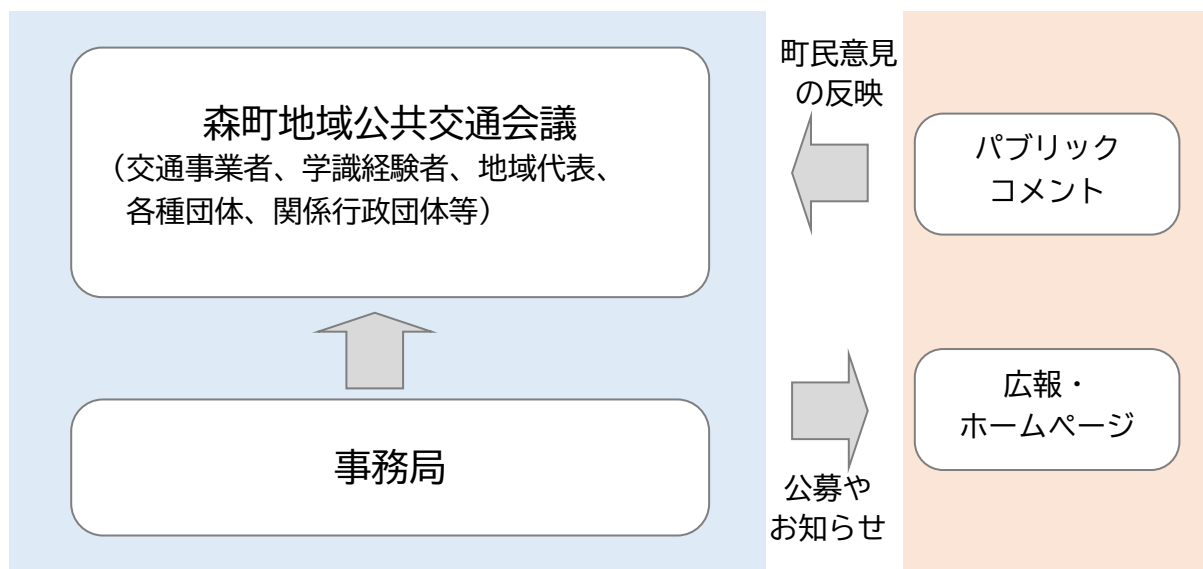
参考資料

1 策定経過と策定体制

(1) 策定経過内容

年月日	内容
令和4年8月	令和4年度 第1回 森町地域公共交通会議
令和4年10月～ 令和5年2月	町民アンケート調査の実施
	公共交通利用者アンケート調査の実施
	高校生アンケート調査の実施
	交通事業者ヒアリング調査の実施
	関係事業者ヒアリング調査の実施
令和5年1月	令和4年度 第2回 森町地域公共交通会議
令和5年3月	令和4年度 第3回 森町地域公共交通会議
令和5年3月	令和4年度 第4回 森町地域公共交通会議
令和5年7月	令和5年度 第1回 森町地域公共交通会議
令和5年12月	令和5年度 第2回 森町地域公共交通会議
令和6年2月	パブリックコメントの実施
令和6年3月	令和5年度 第3回 森町地域公共交通会議
令和6年3月	「森町地域公共交通法定計画」の決定

(2) 策定体制



2 上位関連計画の整理

(1)第9次森町総合計画

項 目	内 容
計画期間	平成 28 年度～令和7年度(2016～2025 年度)
計画概要	町民一人ひとりの豊かな暮らしの実現と、多様な交流を育み、誰もが明るい未来を描くことができる環境を整えていくため、今後 10 年のまちづくりの中長期的な指針。
将来像	住む人も訪れる人も「心和らぐ森町」
基本の柱	基本の柱1:～みんなで助けあう健やかなまち～(保健・医療・福祉) 基本の柱2:～先人に学びみんなで育むまち～(教育・文化) 基本の柱3:～交流が盛んでにぎわうまち～(活力・情報発信) 基本の柱4:～活気あふれる産業のまち～(産業振興) 基本の柱5:～いつまでも暮らせるやすらぎのまち～(安心・安全) 基本の柱6:～豊かな自然があふれるまち～(自然環境)
公共交通に 関連する施策	【施策の方向性】 町民ニーズに即した地域公共交通の充実を図るとともに、天竜浜名湖鉄道や路線バス、自主運行バスなどの利便性の向上と効率的な運行を促進します。

(2)第2期森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと・創生総合戦略

項 目	内 容
計画期間	まち・ひと・しごと創生総合戦略:令和3年度～令和7年度(2021～2025 年度)
計画概要	人口減少や少子高齢化が急速に進む中、地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的として、地域の実情に応じ、まち・ひと・しごと創生に関する施策の基本的な計画。
基本の方針、 基本目標	■基本の方針 ○結婚・出産・子育て 若年世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、人口減少に歯止めをかける。 ○町内定住 家族形成期世帯の定住、一時転出層の呼び戻し、外部からの流入を促す。 ○地域経済の活性化 産業の振興と地域内での安定的な雇用の確保や、地域資源を活かした新たなにぎわいを創出する。 ○生活環境の整備 町民誰もが安全・安心に暮らせる生活環境を維持、整備する。 ■基本目標 基本目標1:「ひと」を育む ～“森”に学び育つ～ 基本目標2:「魅力」と「交流」をつくる ～人とふれあう～ 基本目標3:「しごと」をつくる ～人を活かす～ 基本目標4:「安心」をつくる ～“森”との共生～
公共交通に 関連する施策	基本目標 4:「安心」をつくる ～“森”との共生～ ■定住環境としての魅力向上と移住促進 ○交通環境の改善 町内におけるバス、鉄道網の連携等により、総合的な公共交通のあり方について見直します。

(3) 森町都市計画マスタープラン

項 目	内 容
計画期間	令和2年度～令和 22 年度(2020～2040 年度)
計画概要	町の総合計画やまちづくりの現状、住民意向などを踏まえ、目指すべきまちの将来像を定め、今後のまちづくりの道筋を示すもの。
将来都市像	住む人も訪れる人も「心とらぐ森町」
公共交通に 関連する施策	■基本的な考え方 ・まちづくりや観光施策と併せた、道路・交通ネットワークの構築 ・多様な交通手段を組み合わせ、町民や観光客等の移動手段を確保 ■施策の方向 ○暮らしを支える公共交通ネットワークの維持 ・公共交通の利便性向上 ・公共交通の利用促進 ・地域特性に応じた移動手段の確保

(4) 森町立地適正化計画

項 目	内 容
計画期間	令和2年度～令和 22 年度(2020～2040 年度)
計画概要	居住や都市機能の適正な誘導を図ることにより、人口減少・少子高齢時代においても持続可能なコンパクトなまちづくりを進め、豊かな暮らしの維持を図るもの。
まちづくりの テーマ	「医・職・住」×「交流」のまちづくり
公共交通に 関連する施策	○公共交通等の充実 ・公共交通の利用率の向上 ・公共交通の利便性の向上 ・公共交通を補完する多様な移動手段の充実

(5) 「遠州の小京都まちづくり」基本構想・基本計画

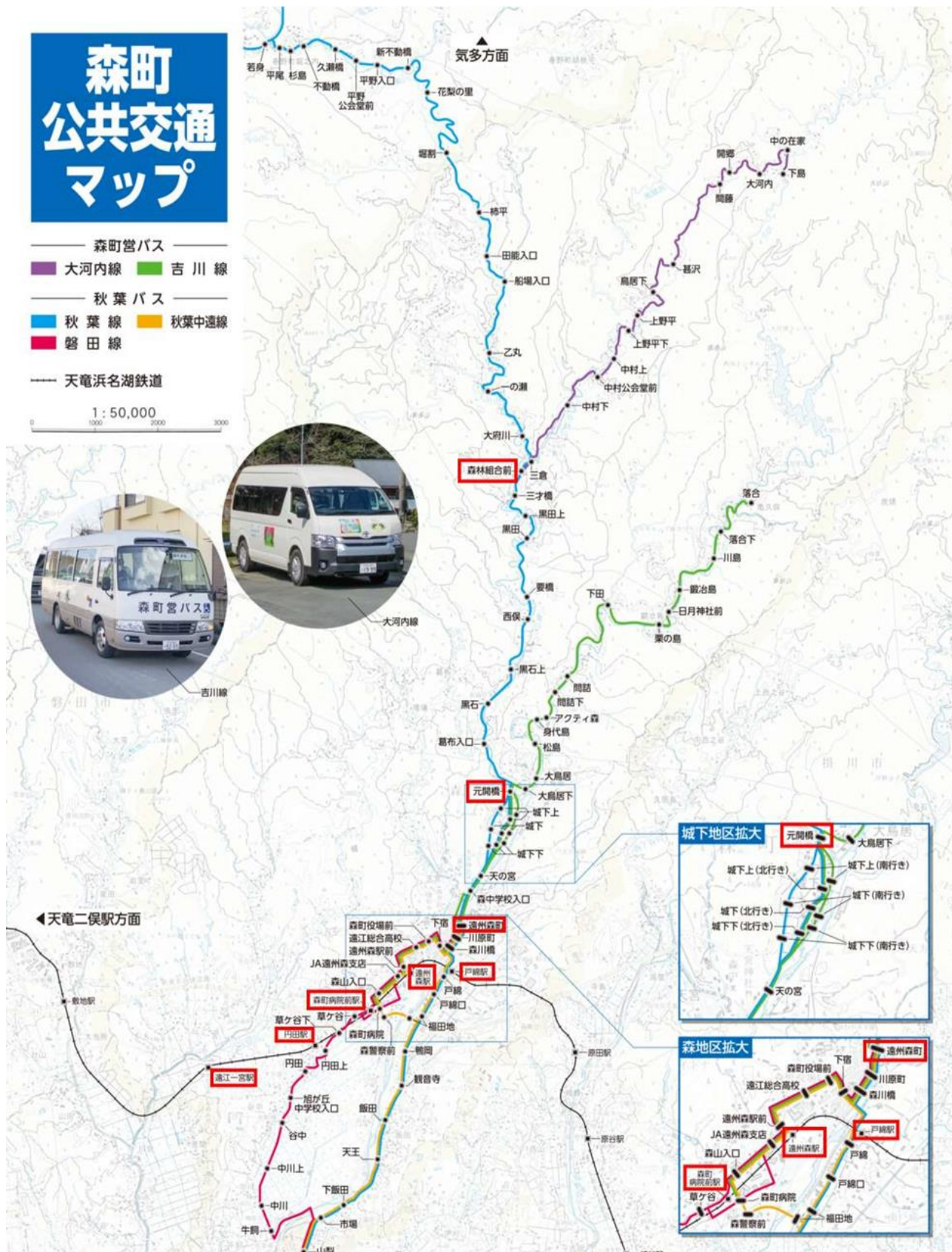
項 目	内 容
計画期間	基本構想 平成 26 年度～(2014 年度～) 基本計画 平成 28 年度～(2016 年度～)
計画概要	■遠州の小京都まちづくり基本構想 「遠州の小京都・森町」をその由縁から改めて整理し、「遠州の小京都」のまちづくりの方向性を示すもの。 ■遠州の小京都まちづくり基本計画 「遠州の小京都」を”看板”として、今後の町の観光や産業の振興に寄与するために必要な取組等について検討し、とりまとめたもの。

(6) 森町地域福祉計画

項 目	内 容
計画期間	令和6年度～令和 10 年度(2024～2028 年度)
計画概要	地域共生社会の実現を目指し、地域福祉のあり方や推進に向けての基本的な方向を示すもの。

3 路線の概況（令和5年4月1日現在）

(1) 森町公共交通マップ及び公共交通結節点



※駅及びバス停の については、交通結節点を示す。

(2)路線バス

■秋葉線

路線名		秋葉線	
運行体系		民間路線バス(地域間幹線系統)	
事業区分		一般乗合旅客自動車運送事業	
事業者		秋葉バスサービス株式会社	
車両		大型バス(乗車定員:最大 79 名)	
運賃	主な区間	袋井駅前～遠州森町:590 円 袋井駅前～気多:770 円	
	森町内	戸綿～遠州森町:180 円 遠州森町～森林組合前:440 円	
運行区間	起点	袋井駅前(袋井市)	
	森町内の主な経由地	遠州森町、元開橋、森林組合前	
	終点	気多(浜松市)	
運行区間内の町内交通結節点	バス停	遠州森町、元開橋、森林組合前	
	天浜線駅 (最寄りバス停名)	戸綿駅(戸綿)	
1日あたりの運行便数	便	平日	16 便(06:00～19:59)
		内訳／備考	・袋井駅前→気多:8便 ・気多→袋井駅前:8便
		土日祝日	8便(07:05～19:44)
		内訳／備考	・袋井駅前→気多:4便 ・気多→袋井駅前:4便 ・8月 13 日～15 日及び 12 月 30 日～1月3日は、土日祝日ダイヤで運行



■秋葉中遠線

路線名		秋葉中遠線	
運行体系		民間路線バス(地域間幹線系統)	
事業区分		一般乗合旅客自動車運送事業	
事業者		秋葉バスサービス株式会社	
車両		大型バス(乗車定員:最大 79 名)	
運賃	主な区間	袋井駅前～遠州森町:590 円 袋井駅前～大東支所:800 円	
	森町内	森町病院～遠州森町:180 円 戸綿～遠州森町:180 円	
運行区間	起点	大東支所(掛川市)／袋井駅前(袋井市)	
	主な経由地	横須賀車庫前、袋井市民病院、横手橋、山梨郵便局前、イオン袋井店前、森町病院、戸綿	
	終点	遠州森町	
運行区間内の町内交通結節点	バス停	遠州森町	
	天浜線駅(最寄りバス停名)	戸綿駅(戸綿)、遠州森駅(遠州森駅前)、森町病院前駅(森山入口、森町病院)	
1日あたりの運行便数(森町内運行便数)	便	平日	54 便(06:10～22:05)
		内訳／備考	・袋井駅前～山梨郵便局前～遠州森町:27 便 ・袋井駅前～イオン袋井店前～遠州森町:13 便 ・袋井駅前～森町病院～遠州森町:8便 ・袋井駅前～横手橋～遠州森町:3便 ・大東支所～袋井駅前～遠州森町:3便
		土日祝日	34 便(06:15～21:09)
		内訳／備考	・袋井駅前～山梨郵便局前～遠州森町:22 便 ・袋井駅前～イオン袋井店前～遠州森町:8便 ・袋井駅前～横手橋～遠州森町:4便 ・8月 13 日～15 日及び 12 月 30 日～1月3日は、土日祝日ダイヤで運行



■吉川線

路線名		吉川線	
運行体系		自主運行バス(町営バス)	
事業区分		自家用有償旅客運送	
事業者		森町	
車両		中型車両(乗車定員:19名)	
運賃	主な区間	①落合～元開橋:200円 ②元開橋～森町病院:200円 ※①と②2つの区間を乗車する場合:400円	
運行区間	起点	森町病院	
	主な経由地	遠州森町、元開橋、アクティ森	
	終点	落合	
運行区間内の交通結節点	バス停	遠州森町、元開橋	
	天浜線駅 (最寄りバス停名)	遠州森駅(遠州森駅前)、森町病院前駅(森山入口、森町病院)	
1日あたりの運行便数	便	平日	3月～9月:15便(07:21～19:20) 10月～2月:14便(07:21～17:54)
		内訳／備考	○一部デマンド運行(経由地は定時便の終点) ・森町病院～落合下～落合:2便 ・森町病院～アクティ森～落合:9便 ○デマンド運行 ・遠州森町～アクティ森 3月～9月:3便 10月～2月:2便 ・8月13日～15日及び12月30日～1月3日は、土日祝日ダイヤで運行
		土日祝日	13便(08:32～16:53)
		内訳／備考	○一部デマンド運行(経由地は定時便の終点) ・森町病院～アクティ森～落合:8便 ○デマンド運行 ・森町病院～落合:5便



■大河内線

路線名		大河内線	
運行体系		自主運行バス(町営バス)	
事業区分		自家用有償旅客運送	
事業者		森町	
車両		中型車両(乗車定員:14 名)	
運賃	主な区間	森林組合前～下島:200 円	
運行区間	起点	森林組合前	
	主な経由地	三倉、開郷	
	終点	下島	
運行区間内の交通結節点	バス停	森林組合前	
1日あたりの運行便数	便	平日	3月～9月:13 便(06:51～19:43) 10 月～2月:12 便(06:51～18:17)
		内訳／備考	○定時運行 ・森林組合前～下島:5便 ・森林組合前～開郷:2便 ○デマンド運行 ・森林組合前～下島 3月～9月:6便 10 月～2月:5便
		土日祝日	運休
		内訳／備考	・土日祝日 ・8月 13 日～15 日 ・12 月 30 日～1月3日



■磐田線

路線名		磐田線	
運行体系		自主運行バス	
事業区分		一般乗合旅客自動車運送事業	
事業者		森町・磐田市・袋井市 ※運行者:秋葉バスサービス株式会社	
車両		大型バス(乗車定員:最大 79 名)	
運賃	主な区間	遠州森町～磐田駅前:730 円	
	森町内	遠州森町～森町病院:180 円 遠州森町～牛飼:340 円	
運行区間	起点	遠州森町	
	森町内の主な経由地	森山入口、森町病院	
	終点	磐田駅前(磐田市)	
運行区間内の町内交通結節点	バス停	遠州森町	
	天浜線駅 (最寄りバス停名)	遠州森駅(遠州森駅前)、森町病院前駅(森山入口、森町病院)、円田駅(円田上)	
1日あたりの運行便数	便	平日	10 便(06:05～20:05)
		内訳／備考	・遠州森町～森山入口～磐田駅前:6便 ・遠州森町～森町病院～磐田駅前:4便
		土日祝日	運休
		内訳／備考	・土日祝日 ・8月 13 日～15 日 ・12 月 30 日～1月3日



(3)交通結節点

交通結節点(鉄道駅)	主な状況
○戸綿駅 	《駅舎等》 ・無人駅である。 ・駅舎(待合所)は高架駅だが階段のみであり、バリアフリー化されていない。 《駐車場等の施設》 ・高架下に駐輪場及びトイレが整備されている。しかし、送迎等のための自動車乗降場やタクシー乗降場、駐車場はない。 《路線バスとの接続》 ・秋葉線、秋葉中遠線のバス停(戸綿バス停)まで少し離れている。
○遠州森駅 	《駅舎等》 ・駅舎(本屋)及び上りプラットホームが国の登録有形文化財に登録されている。 ・南側ホームに行くためには階段と線路を渡る必要があり、バリアフリー化されていない。 《駐車場等の施設》 ・送迎等のための自動車乗降場やタクシー乗降場、駐車場、駐輪場、トイレが整備されている。 《路線バスとの接続》 ・遠州森駅前バス停まで少し離れている。
○森町病院前駅 	《駅舎等》 ・平成27年3月開業の無人駅であり、スロープや点字など、バリアフリーに配慮されている。 《駐車場等の施設》 ・駐車場、駐輪場、トイレが整備されている。 ・送迎等のための自動車乗降場、タクシー乗降場はないが、駐車場にて乗降可能。 《路線バスとの接続》 ・最寄りの森町病院バス停や森山入口バス停まで少し離れている。 ・駅利用者は近接の森町病院や森町家庭医療クリニック、森町文化会館の利用が多いことが想定され、バスへの乗り換えを必要とする人は少ないと思われる。
○円田駅 	《駅舎等》 ・無人駅である。 ・ホームへのスロープが整備されている。 《駐車場等の施設》 ・駐輪場、トイレ(簡易なもの)は整備されている。 ・送迎等のための自動車乗降場、タクシー乗降場はないが、駐車場にて乗降可能。 《路線バスとの接続》 ・磐田線の円田上バス停までは少し離れている。
○遠江一宮駅 	《駅舎等》 ・駅舎(本屋)が国の登録有形文化財に登録されている。 ・無人駅である。 ・南側ホームに行くためには階段と線路を渡る必要があり、バリアフリー化されていない。 《駐車場等の施設》 ・送迎等のための自動車乗降場やタクシー乗降場、駐車場、駐輪場、トイレが整備されている。 《路線バスとの接続》 ・路線バスとの接続はない。

交通結節点(バス停)	主な状況
○遠州森町バス停 	《待合所等》 ・秋葉バス(株)の営業所となっており、屋根付き、ベンチ有りの待合所が整備されている。 《駐車場等の施設》 ・送迎等のための自動車乗降場やタクシー乗降場、駐車場、駐輪場、トイレが整備されている。 《路線バスとの接続》 ・秋葉線、秋葉中遠線、吉川線、磐田線の接続地点(乗り換えポイント)となっている。
○元開橋バス停 	《待合所等》 ・市街地から三倉、天方方面に向かうためのバス停には簡易の上屋、ベンチが設置されている。三倉、天方方面から市街地に向かうためのバス停には、上屋は設置されていない。 《駐車場等の施設》 ・送迎等のための自動車乗降場やタクシー乗降場、駐車場はない。 《路線バスとの接続》 ・秋葉線、吉川線の接続地点となっている。
○森林組合前バス停 	《待合所等》 ・屋根、ベンチなどがある待合所は整備されていない。 《駐車場等の施設》 ・送迎等のための自動車乗降やタクシー乗降のスペースはある。 《路線バスとの接続》 ・秋葉線、大河内線の接続地点となっている。

4 町民アンケート調査結果の概要

(1) 実施概要

項目	内容
実施時期	令和4年11月7日（月）～令和4年11月24日（木）
実施目的	・日常生活における移動実態の把握 ・公共交通の利用状況の把握 ・公共交通全般に対する町民ニーズの把握 ・地域公共交通の問題点・課題点の整理
実施方法	郵送配布（郵送回収またはインターネットでの回答）
対象者	18歳以上の町民1,000人
対象者抽出条件	森地区200人、一宮地区160人、園田地区160人、飯田地区160人、三倉地区160人、天方地区160人
配布数	1,000票
回収数	521票（うちインターネット回答66票）
回収率	52.1%

(2) 調査結果

1) 【1-1】居住地域

・居住地域では、「森地区」が112人、「一宮地区」が80人、「園田地区」が80人、「飯田地区」が69人、「三倉地区」が90人、「天方地区」が81人の回答となった。

表 居住地域

	回答数	割合
森地区	112	21.5%
一宮地区	80	15.4%
園田地区	80	15.4%
飯田地区	69	13.2%
三倉地区	90	17.3%
天方地区	81	15.5%
無回答	9	1.7%
合計	521	100.0%

2) 【1-2】性別

- ・性別では、「女性」が 52.8%と最も高く、次いで「男性」が 45.1%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「女性」は三倉地区が 57.8%と最も高く、次いで森地区が 55.4%と続いている。

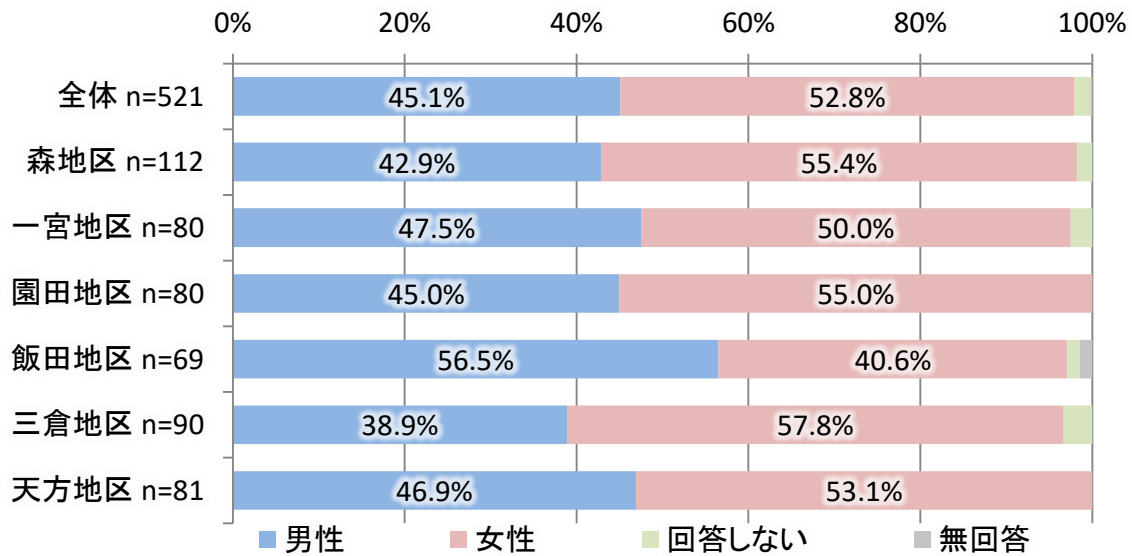


図 性別(地区別)

※5%未満非表示

3) 【1-3】年齢

- ・年齢では、「60代」が 24.4%と最も高く、次いで「70代」が 21.9%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「60代」は一宮地区が 28.8%と最も高く、次いで天方地区が 27.2%と続いている。

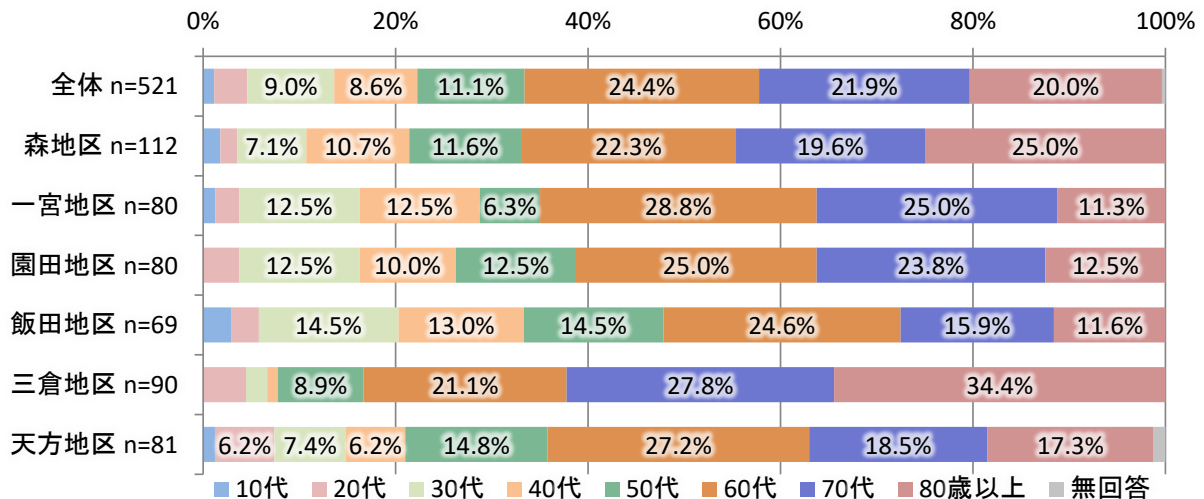


図 年齢(地区別)

※5%未満非表示

4) 【1-4】就業状況

- ・就業状況では、「無職」が 29.2%と最も高く、次いで「会社員・公務員」が 28.4%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「無職」は三倉地区が 37.8%と最も高く、次いで森地区が 31.3%と続いている。

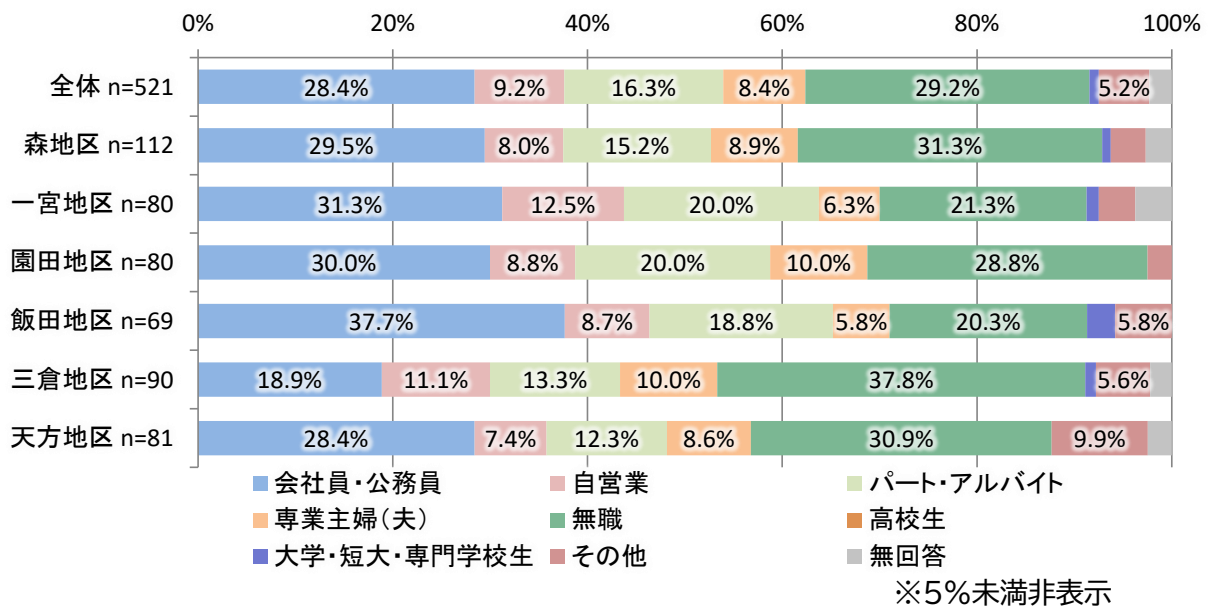


図 就業状況(地区別)

5) 【1-5】運転免許の有無(複数回答)

- ・運転免許の有無では、「普通自動車以上」が 85.0%と最も高く、次いで「自動二輪」が 15.5%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「普通自動車以上」は一宮地区が 95.0%と最も高く、次いで園田地区が 93.8%と続いている。

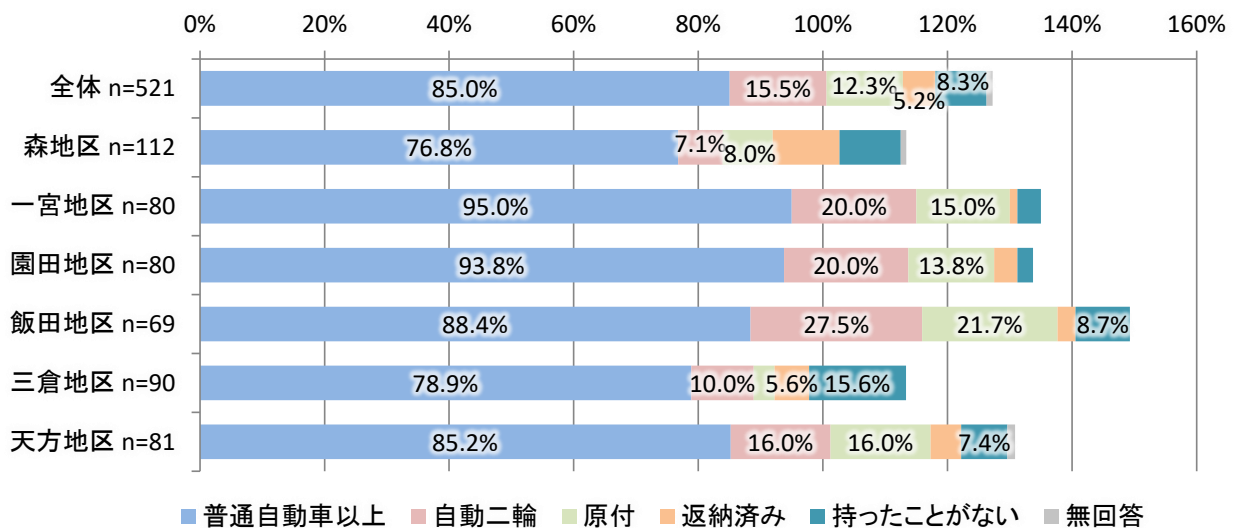


図 運転免許の有無(地区別)

※5%未満非表示

6) 【1-6】免許返納の意思

- ・免許返納の意思では、「現在は返納を考えていない」が 55.3%と最も高く、次いで「返納を考えているが、時期は未定である」が 21.7%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「現在は返納を考えていない」は園田地区が 70.0%と最も高く、次いで一宮地区が 63.8%と続いている。

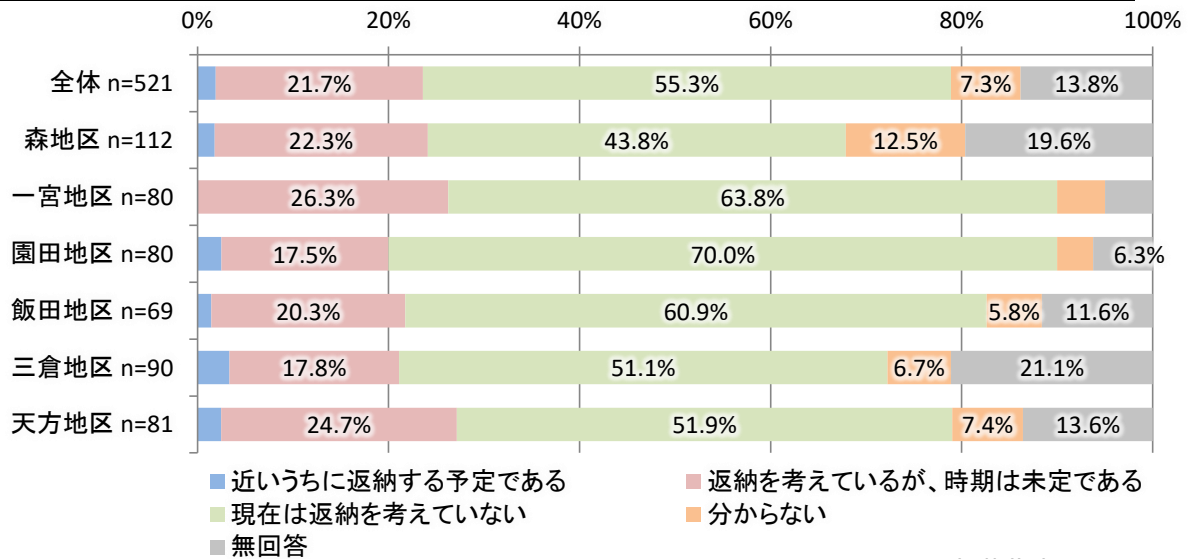


図 免許返納の意思(地区別)

※5%未満非表示

7) 【1-7】免許返納に関する取組み要望

- ・免許返納に関する取組み要望では、「自家用車に代わる公共交通機関の充実」が 45.3%と最も高く、次いで「免許返納者を対象にした公共交通やタクシーの割引制度の充実」が 23.6%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「自家用車に代わる公共交通機関の充実」は一宮地区が 51.3%と最も高く、次いで天方地区が 49.4%と続いている。

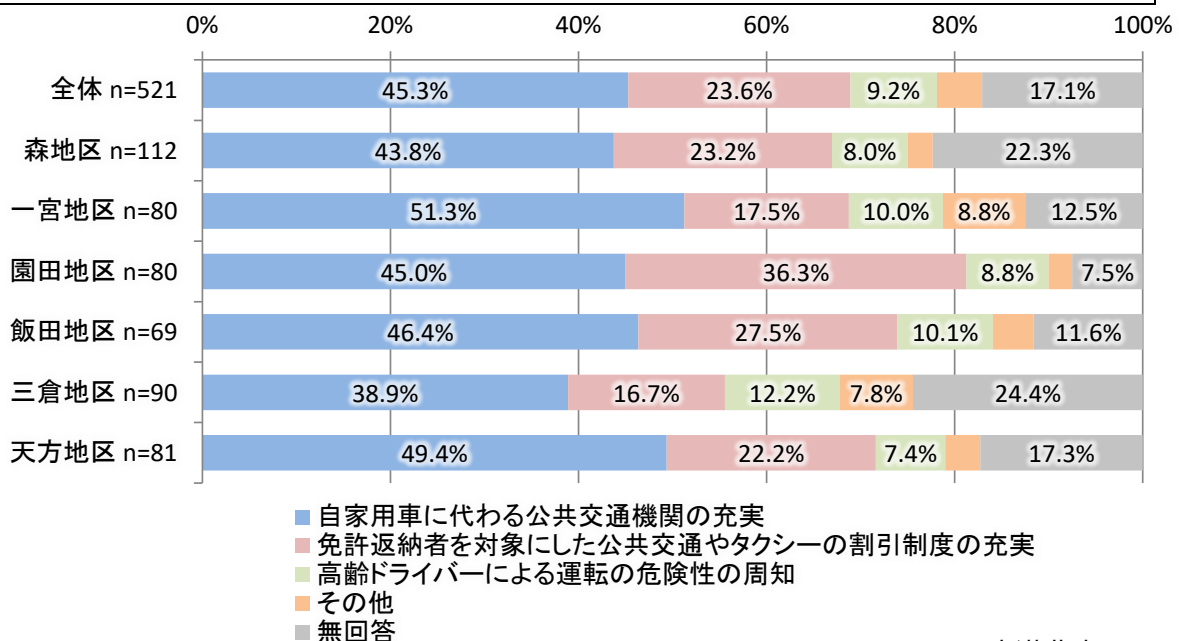


図 免許返納に関する取組み要望(地区別)

※5%未満非表示

8) 【1-8】車両の有無(複数回答)

- ・車両の有無では、「自動車」が 83.3%と最も高く、次いで「自転車」が 24.6%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「自動車」は一宮地区が 95.0%と最も高く、次いで園田地区が 90.0%と続いている。

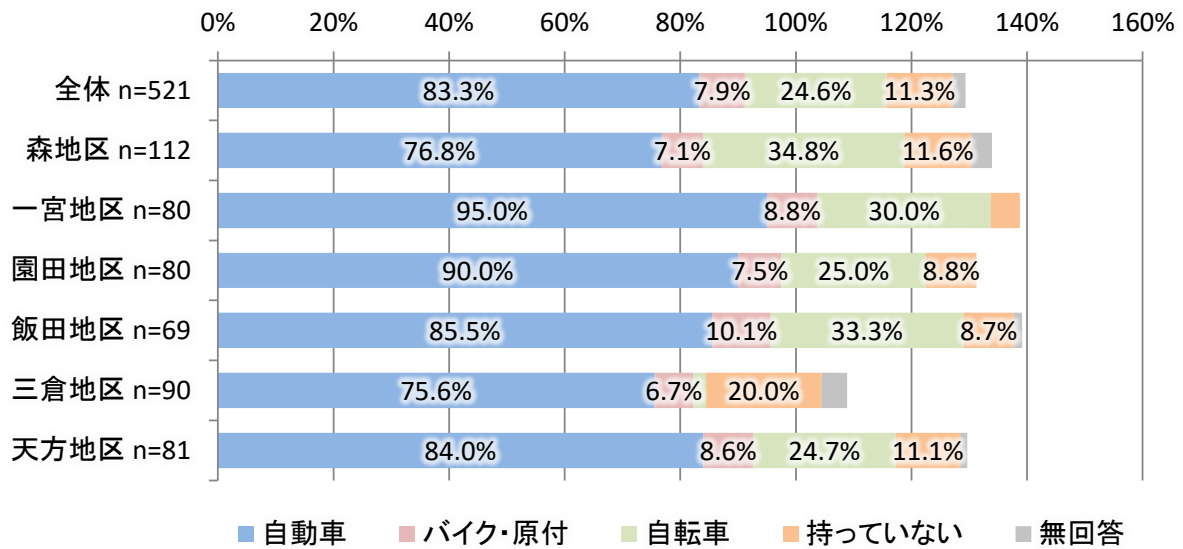


図 車両の有無(地区別)

※5%未満非表示

9) 【1-9】外出頻度の変化(コロナ禍)

- ・外出頻度の変化(コロナ禍)では、「減少した」が 65.5%と最も高く、次いで「変化していない」が 32.6%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「減少した」は飯田地区が 72.5%と最も高く、次いで森地区が 72.3%と続いている。

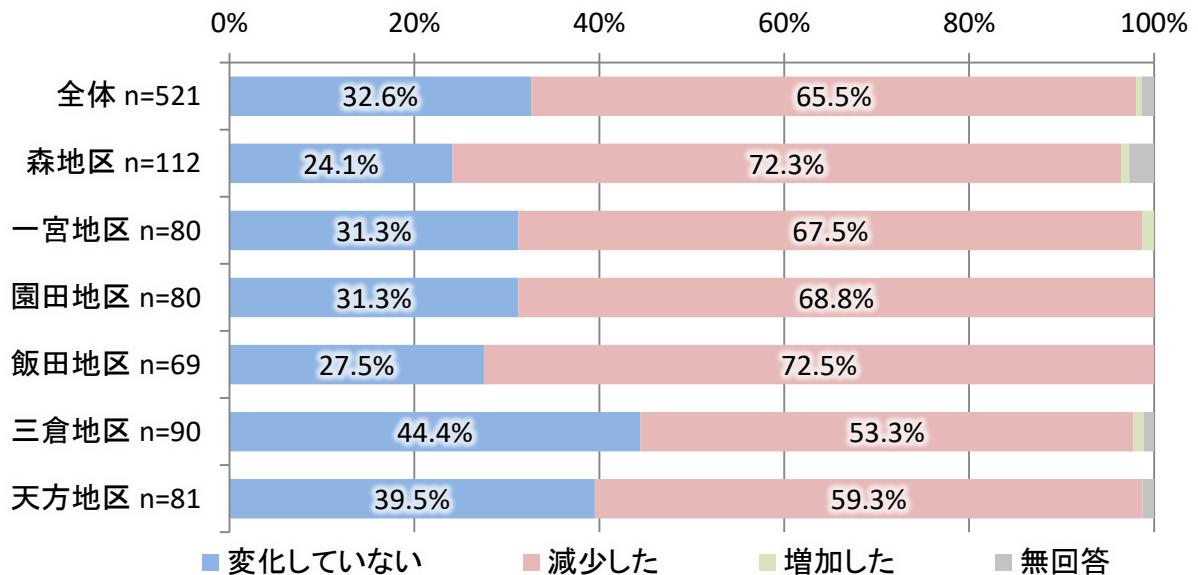


図 外出頻度の変化(コロナ禍)(地区別)

※5%未満非表示

10)【2-1】買い物に出かける回数

- ・買い物に出かける回数では、「週に1～2回」が40.3%と最も高く、次いで「週に3～4回」が28.0%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「週に1～2回」は一宮地区が48.8%と最も高く、次いで園田地区が42.5%と続いている。
- ・頻度の多い「週に5回以上」「週に3～4回」「週に1～2回」を合計した割合については、一宮地区が91.4%と最も高く、次いで園田地区が87.5%と最も多い。

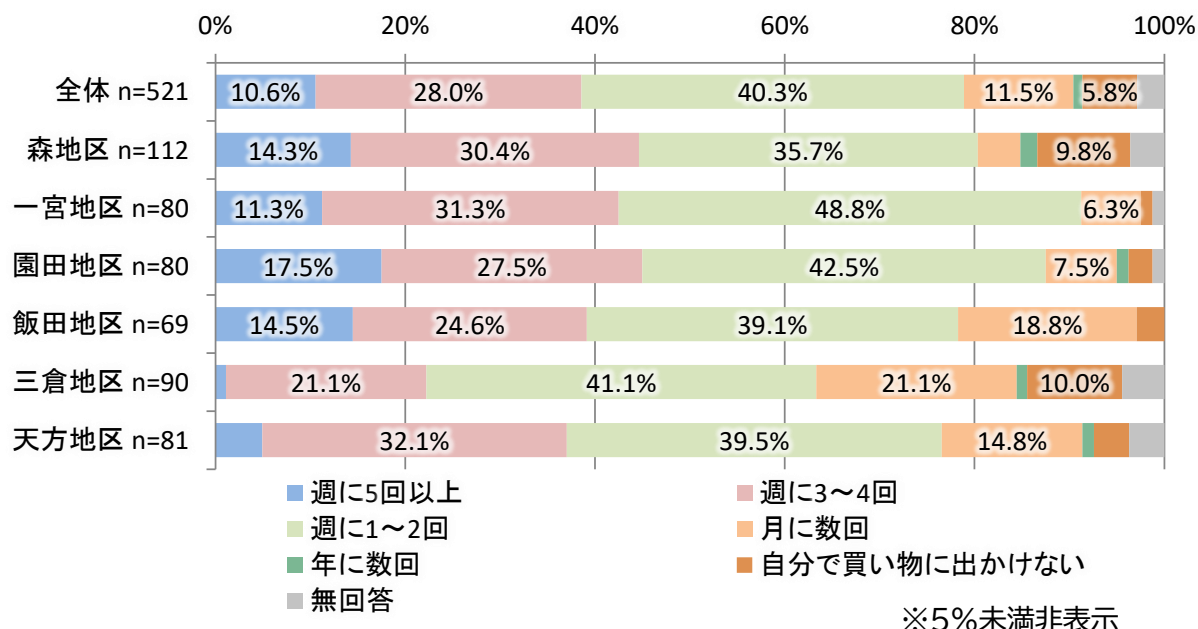


図 買い物に出かける回数(地区別)

11)【2-2】買い物に利用する店舗(複数回答)

※【2-1】で「週に5回以上」、「週に3~4回」、「週に1~2回」、「月に数回」、「年に数回」を答えた人のみ

- ・買い物に利用する店舗では、「ピアゴ森店」が 64.5%と最も高く、次いで「イオン袋井店」が 48.1%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「ピアゴ森店」は三倉地区が 75.3%と最も高く、次いで森地区が 74.2%と続いている。

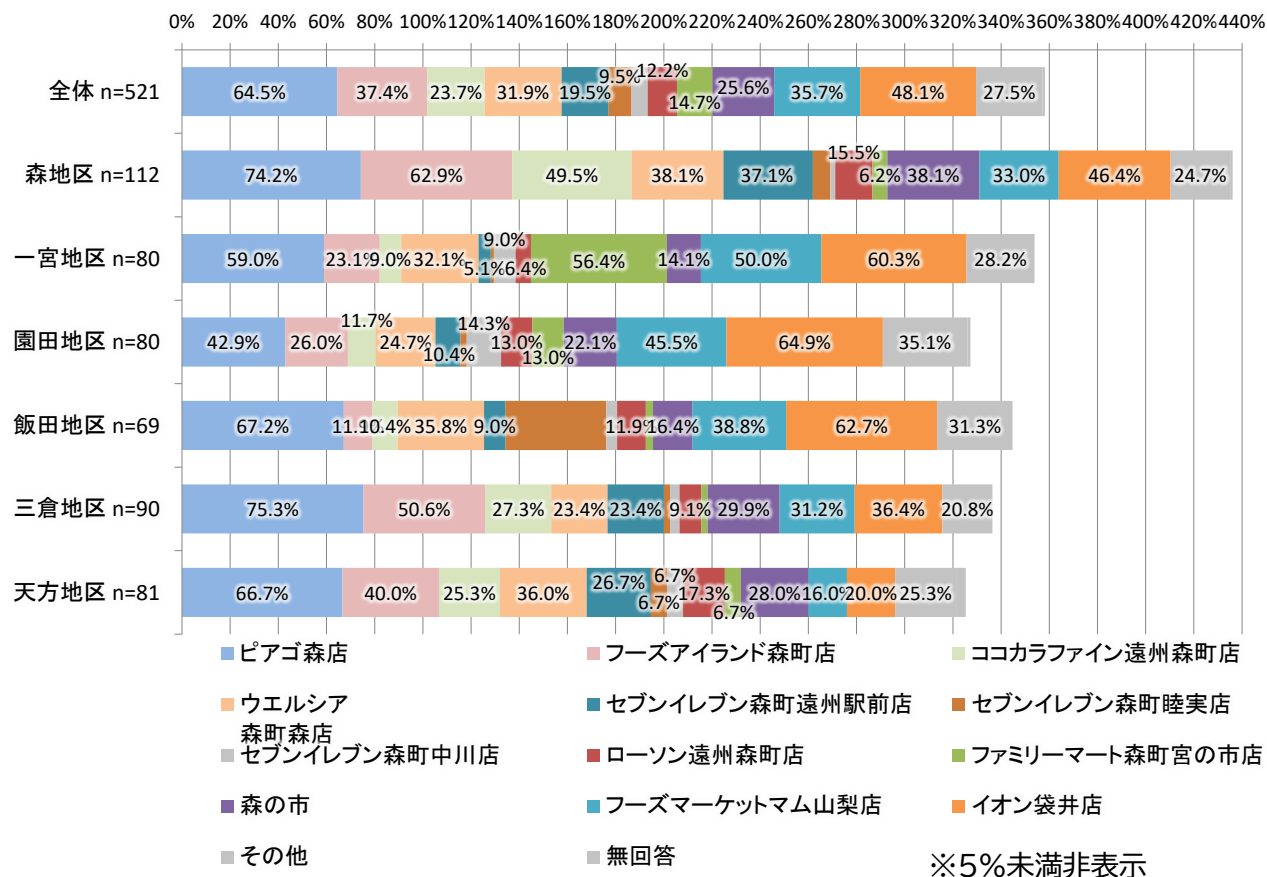


図 買い物に利用する店舗(地区別)

12)【2-3】買い物での交通手段(複数回答)

※【2-1】で「週に5回以上」、「週に3~4回」、「週に1~2回」、「月に数回」、「年に数回」を答えた人のみ

- ・買い物での交通手段では、「自家用車(自分で運転)」が 82.8%と最も高く、次いで「自家用車(家族・知人等による送迎)」が 19.1%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「自家用車(自分で運転)」は園田地区が 87.0%と最も高く、次いで飯田地区が 86.6%と続いている。

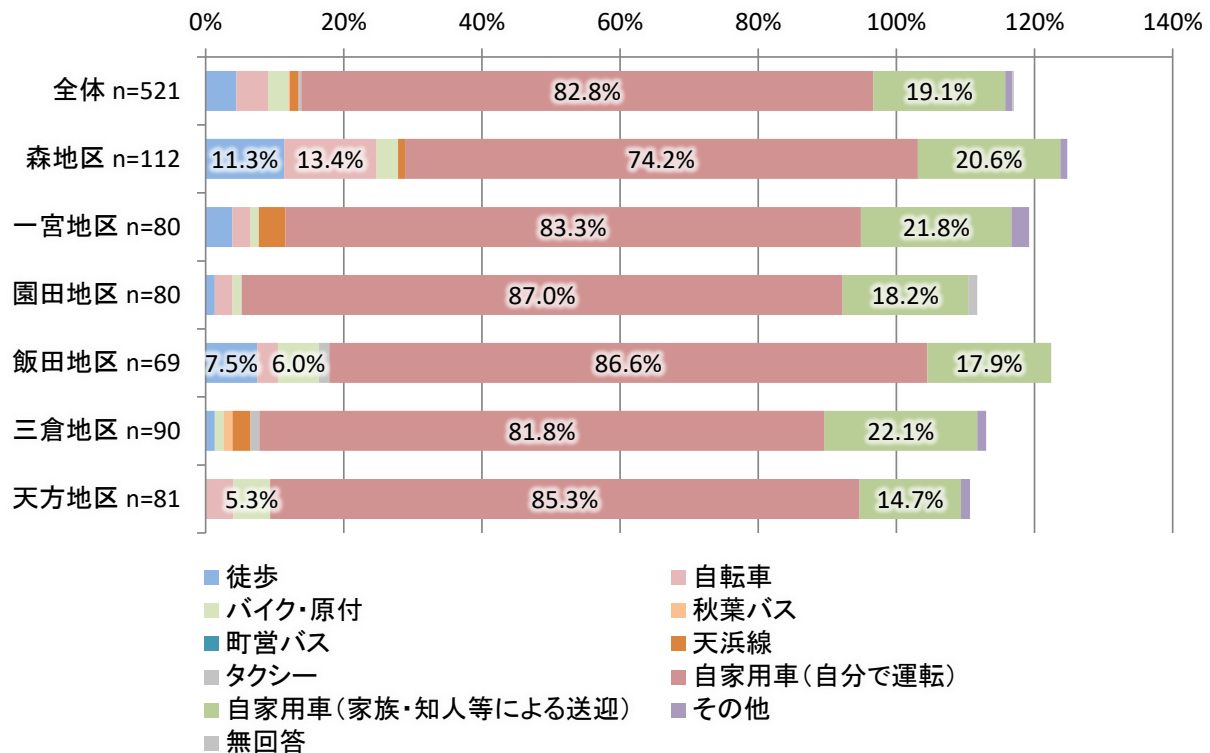


図 買い物での交通手段(地区別)

※5%未満非表示

13)【3-1】通院の回数

- ・通院の回数では、「年に数回」が 37.6%と最も高く、次いで「月に数回」が 31.3%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「年に数回」は園田地区が 45.0%と最も高く、次いで三倉地区が 41.1%と続いている。

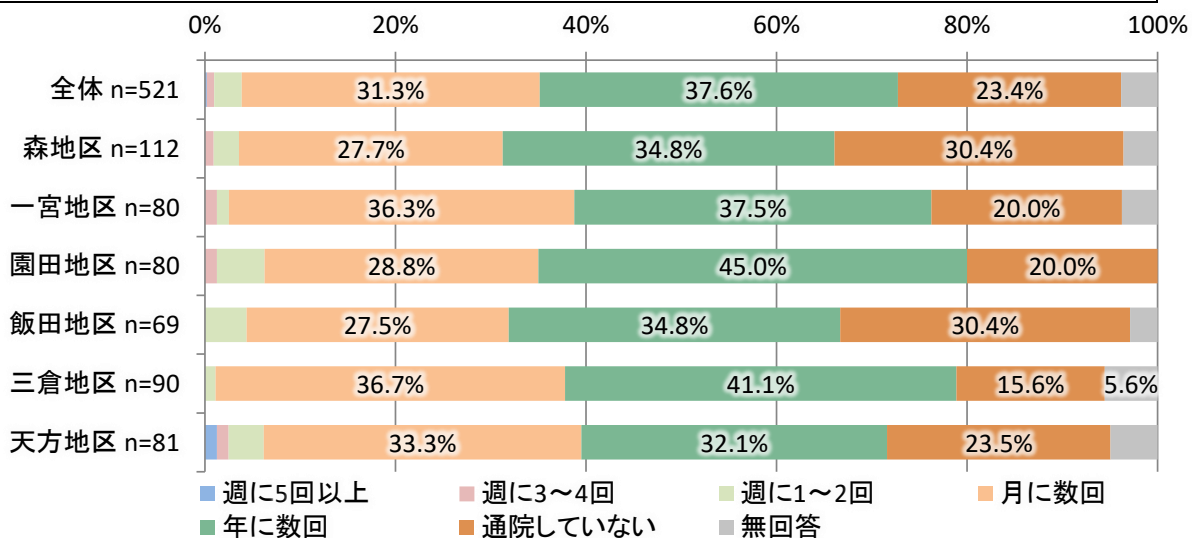


図 通院の回数(地区別)

※5%未満非表示

14)【3-2】通院先の地域

※【3-1】で「週に5回以上」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に数回」「年に数回」を答えた人のみ

- ・通院先の地域では、「森町病院・家庭医療クリニック」が 33.8%と最も高く、次いで「県内(市・町)」が 29.0%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「森町病院・家庭医療クリニック」は三倉地区が 56.3%と最も高く、次いで一宮地区が 32.8%と続いている。

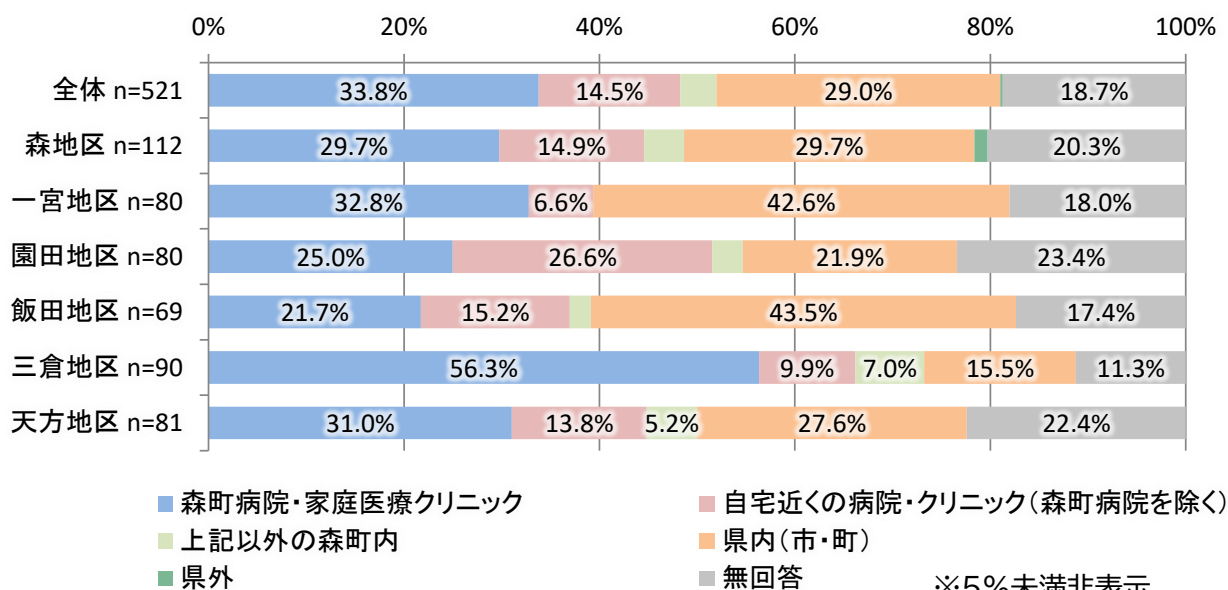


図 通院先の地域(地区別)

※5%未満非表示

15)【3-3】通院での交通手段(複数回答)

※【3-1】で「週に5回以上」、「週に3~4回」、「週に1~2回」、「月に数回」、「年に数回」を答えた人のみ

- ・通院での交通手段では、「自家用車(自分で運転)」が70.7%と最も高く、次いで「自家用車(家族・知人等による送迎)」が19.3%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「自家用車(自分で運転)」は一宮地区が78.7%と最も高く、次いで園田地区が75.0%と続いている。

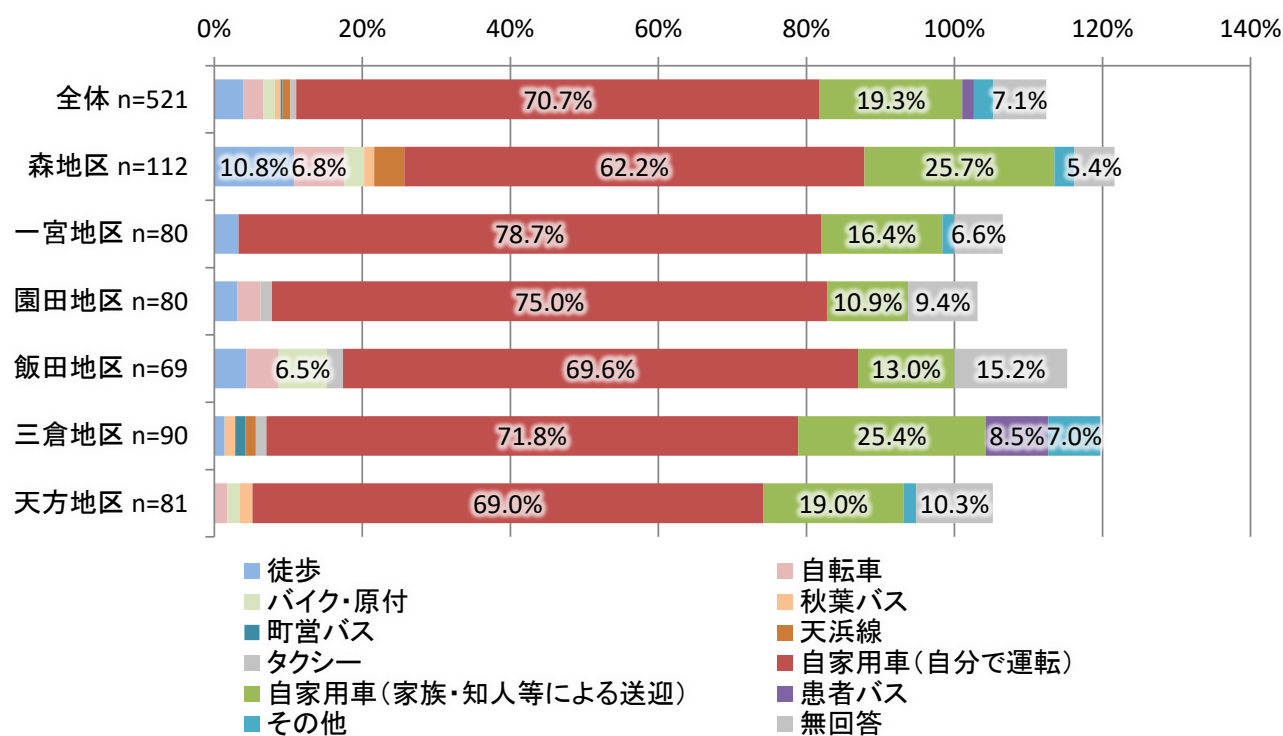


図 通院での交通手段(地区別)

※5%未満非表示

16)【4-1】通勤・通学の有無

- ・通勤・通学の有無では、「通勤している」が 48.0%と最も高く、次いで「通勤・通学していない」が 31.7%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「通勤している」は飯田地区が 59.4%と最も高く、次いで一宮地区、園田地区が 55.0%と続いている。

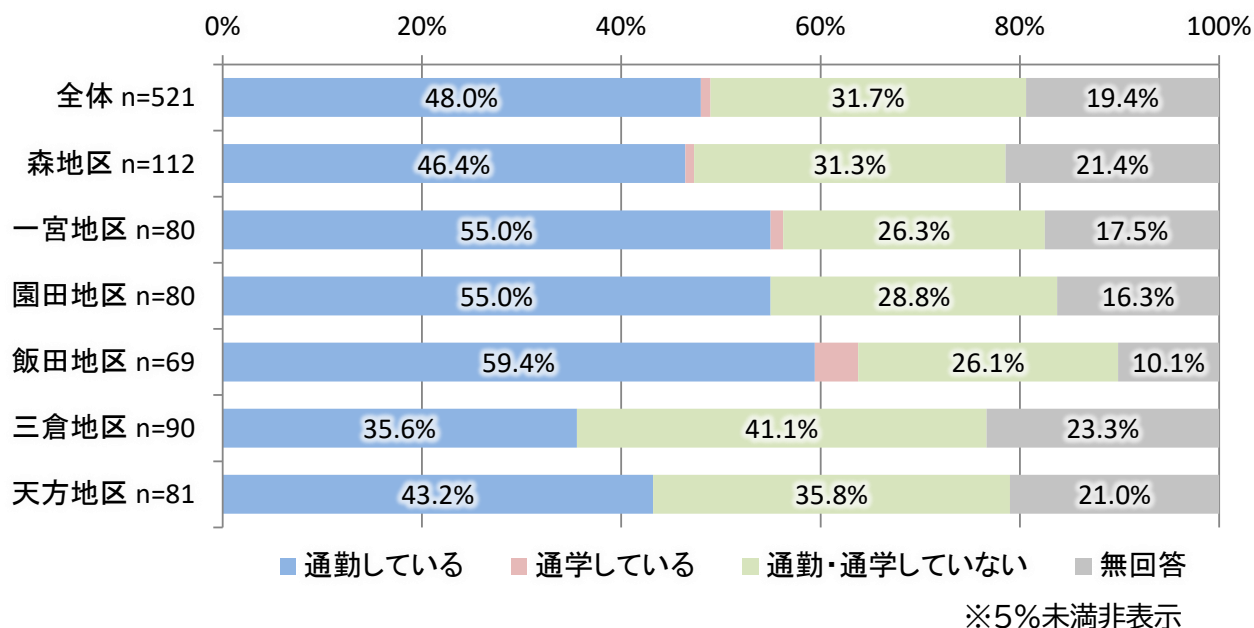


図 通勤・通学の有無(地区別)

17)【4-2】通勤・通学の回数

※【4-1】で「通勤している」、「通学している」を答えた人のみ

- ・通勤・通学の回数では、「週に5回以上」が 76.5%と最も高く、次いで「週に 3～4 回」が 18.0%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「週に5回以上」は飯田地区が 86.4%と最も高く、次いで一宮地区が 77.8%と続いている。

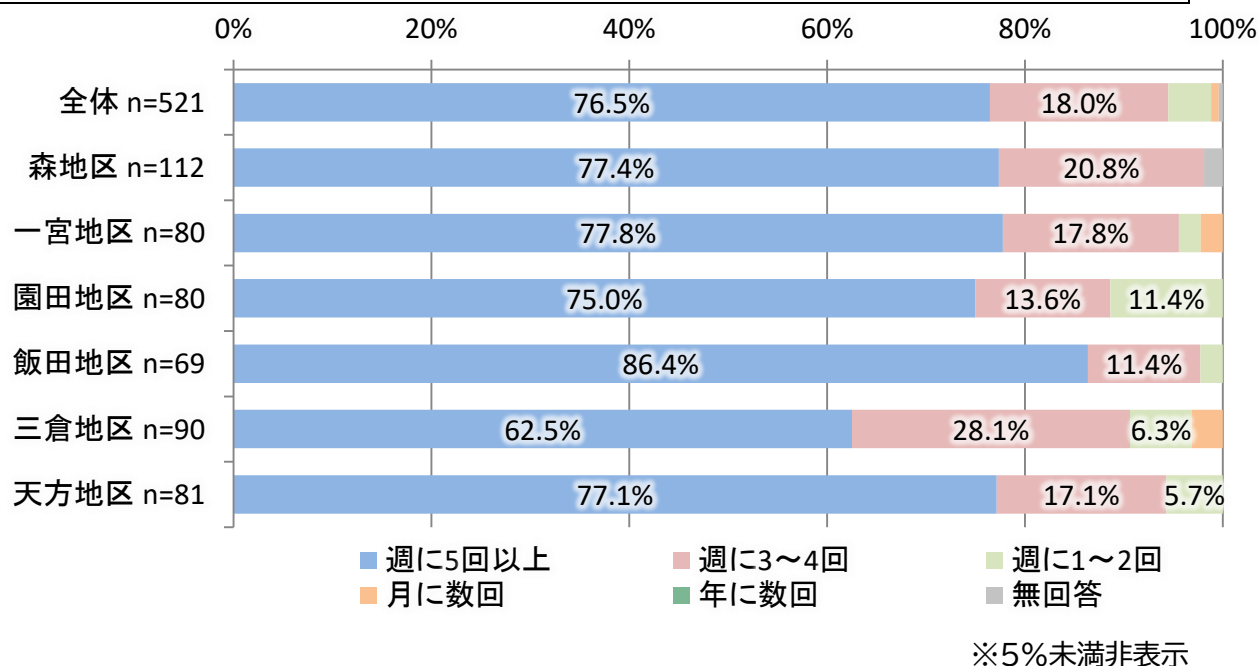
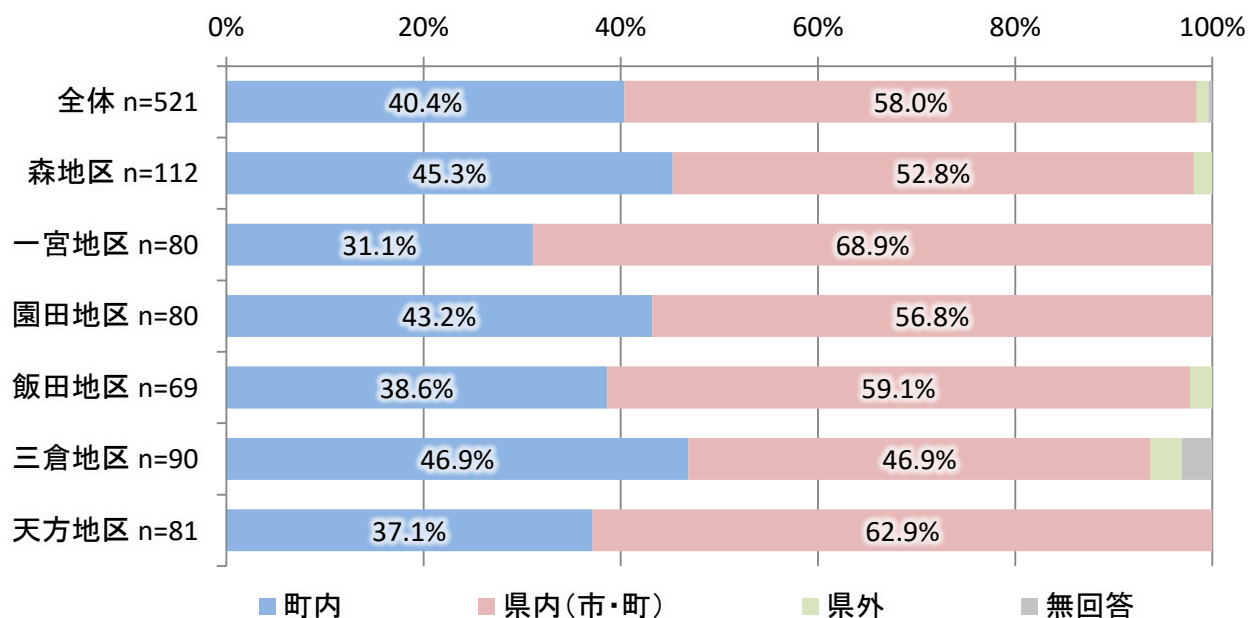


図 通勤・通学の回数(地区別)

18)【4-3】通勤・通学先

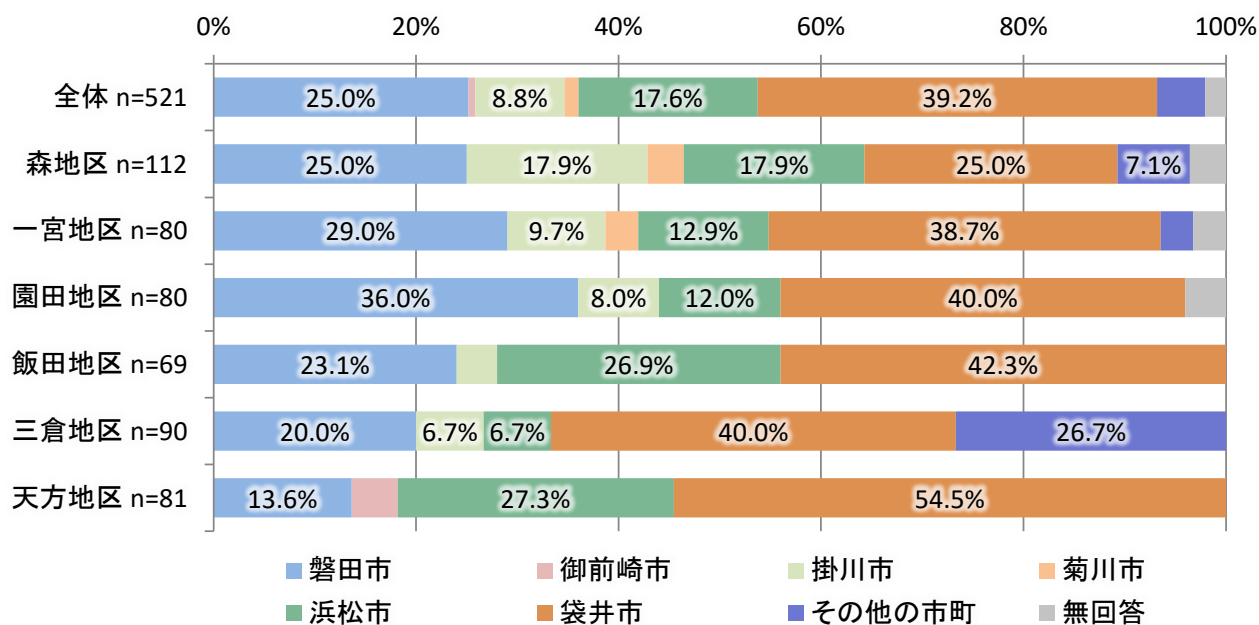
※【4-1】で「通勤している」、「通学している」を答えた人のみ、通勤・通学先の県内市町は「県内(市・町)」を答えた人のみ

- ・通勤・通学先では、「県内(市・町)」が 58.0%と最も高く、次いで「町内」が 40.4%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「県内(市・町)」は一宮地区が 68.9%と最も高く、次いで天方地区が 62.9%と続いている。



※5%未満非表示

図 通勤・通学先(地区別)



※5%未満非表示

図 通勤・通学先の県内市町(地区別)

19)【4-4】通勤・通学での交通手段(複数回答)

※【4-1】で「通勤している」、「通学している」を答えた人のみ

- ・通勤・通学での交通手段では、「自家用車(自分で運転)」が 88.6%と最も高く、次いで「自家用車(家族・知人等による送迎)」が 5.5%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「自家用車(自分で運転)」は天方地区が 97.1%と最も高く、次いで三倉地区が 96.9%と続いている。

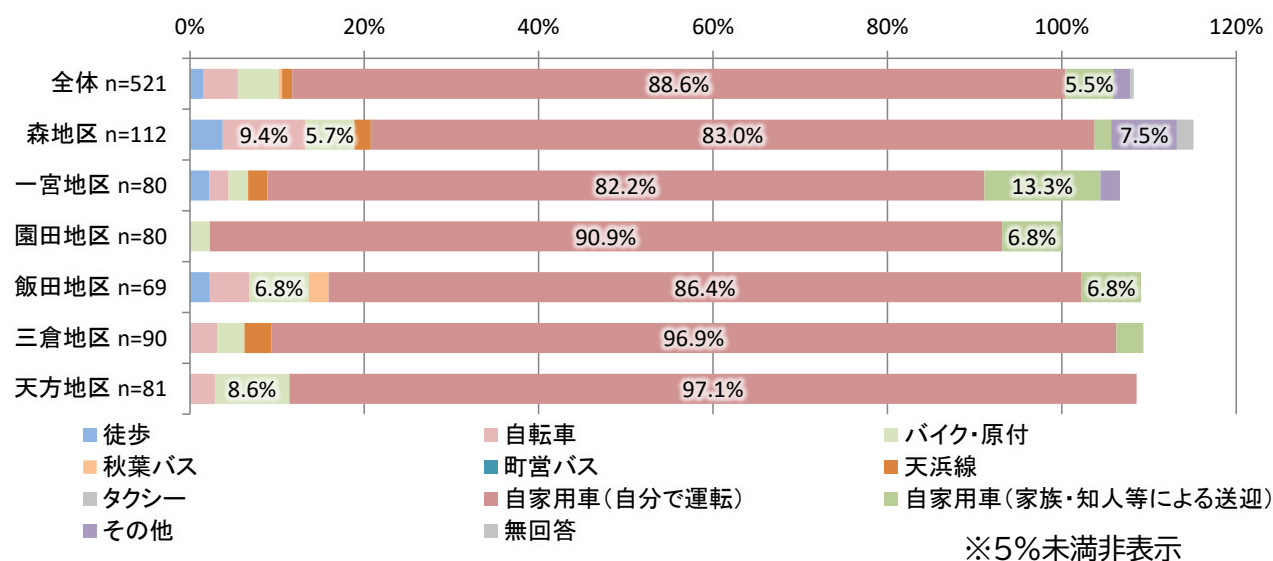


図 通勤・通学での交通手段(地区別)

20)【5-1】買い物、通院、通勤、通学以外の外出先

- ・買い物、通院、通勤、通学以外の外出先では、「銀行・郵便局等」が 17.3%と最も高く、次いで「外出しない」が 15.4%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「銀行・郵便局等」は園田地区が 22.5%と最も高く、次いで一宮地区が 18.8%と続いている。

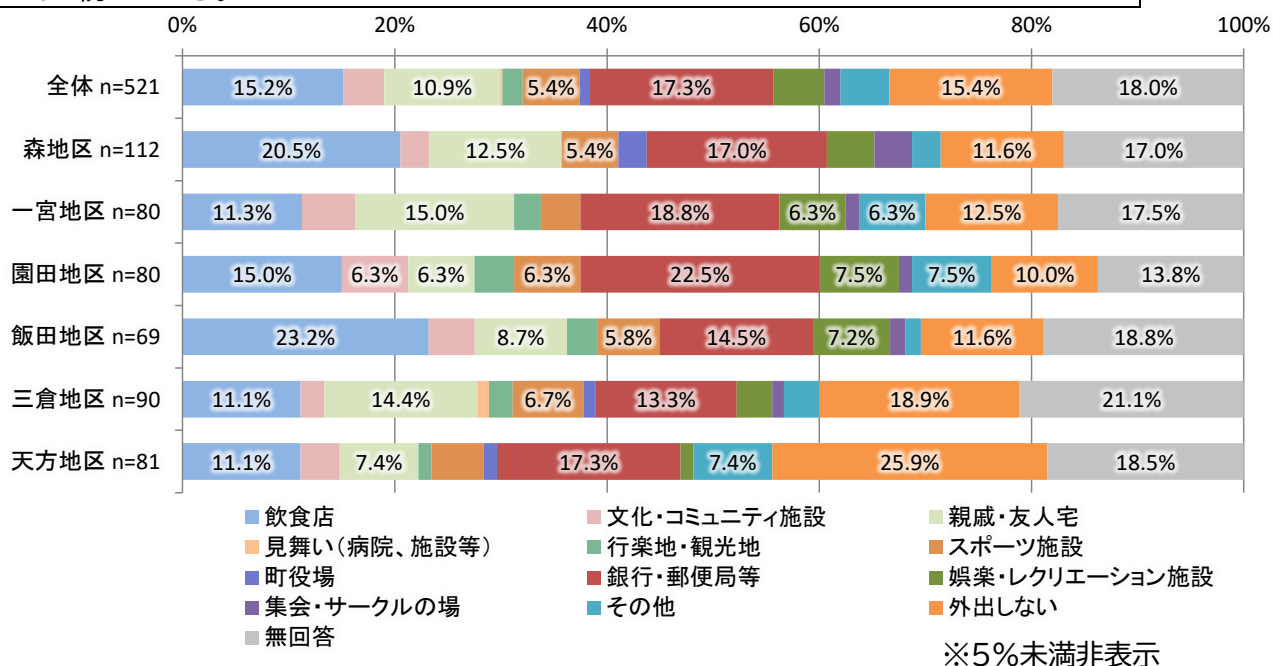


図 買い物、通院、通勤、通学以外の外出先(地区別)

21)【5-2】買い物、通院、通勤、通学以外の外出先での交通手段(複数回答)

- ・買い物、通院、通勤、通学以外の外出先での交通手段では、「自家用車(自分で運転)」が62.6%と最も高く、次いで「自家用車(家族・知人等による送迎)」が10.9%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「自家用車(自分で運転)」は園田地区が72.5%と最も高く、次いで飯田地区が71.0%と続いている。

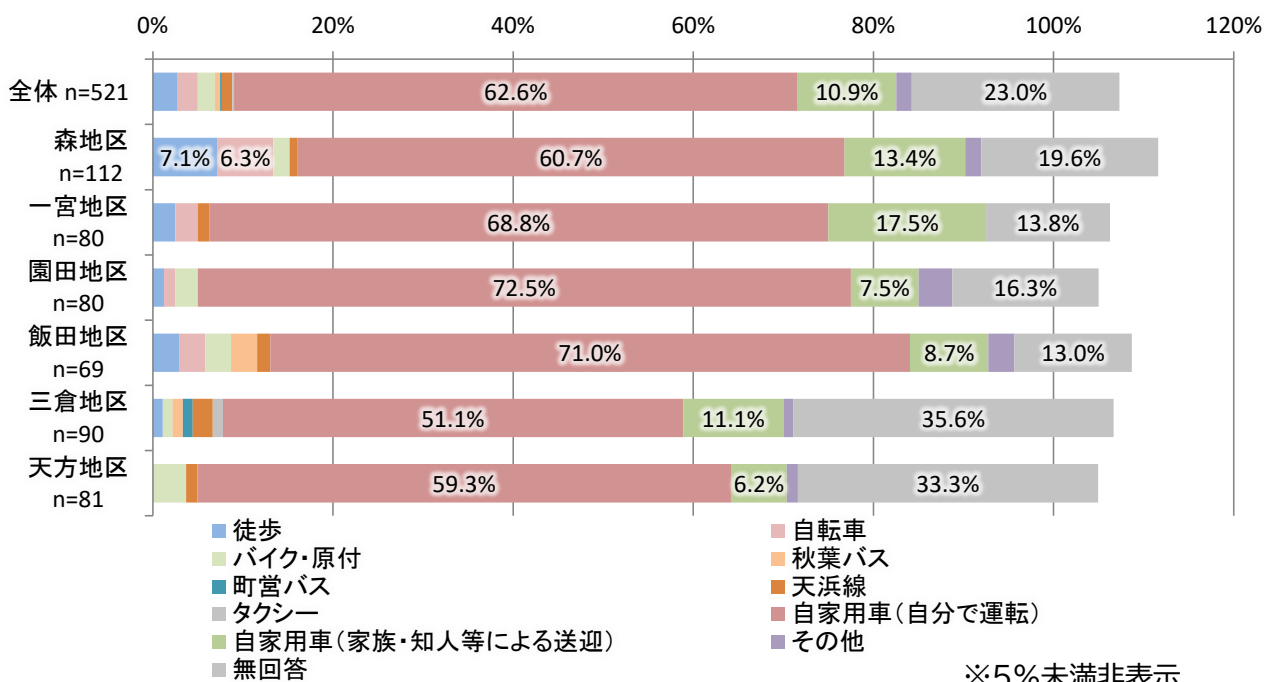


図 買い物、通院、通勤、通学以外の外出先での交通手段(地区別)

22) 【6-1-1】過去 30 日以内の秋葉バスの利用

- ・過去 30 日以内の秋葉バスの利用では、「利用していない」が 93.9%と、ほとんどの人は 30 日以内に利用していない。
- ・居住地域別にみると、「利用していない」は園田地区が 100%と最も高く、次いで一宮地区が 97.5%と続いている。

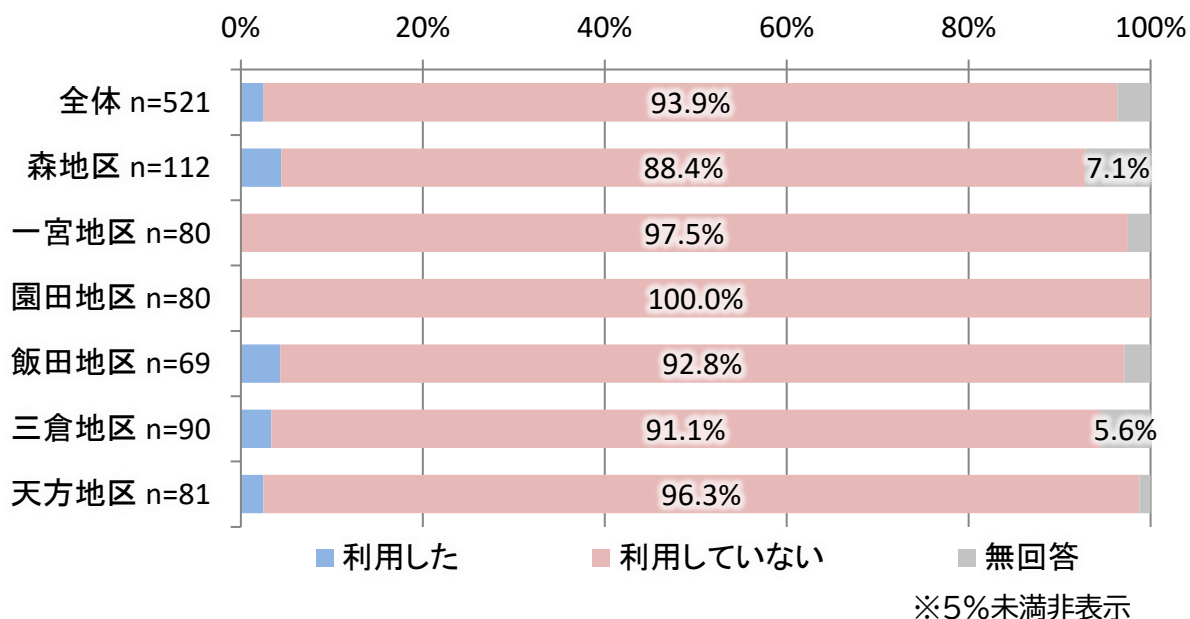


図 過去 30 日以内の秋葉バスの利用(地区別)

23) 【6-1-2】過去 30 日以内の町営バスの利用

- ・過去 30 日以内の町営バスの利用では、「利用していない」が 95.2%と、ほとんどの人は 30 日以内に利用していない。
- ・居住地域別にみると、「利用していない」は園田地区が 100%と最も高く、次いで一宮地区が 98.8%と続いている。

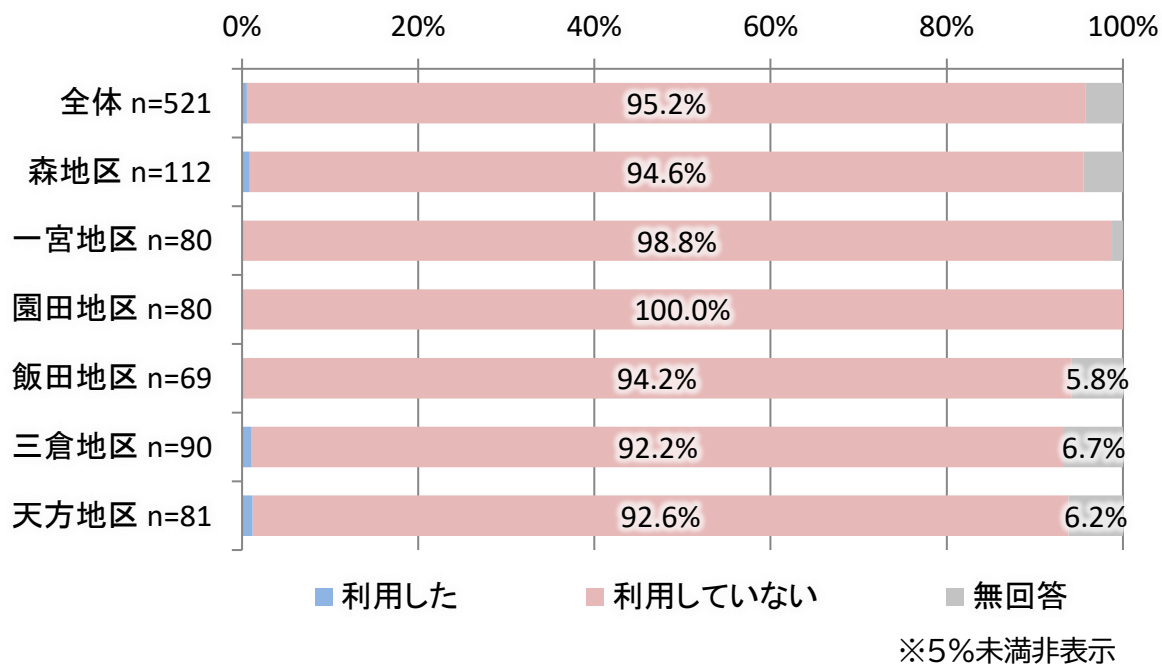
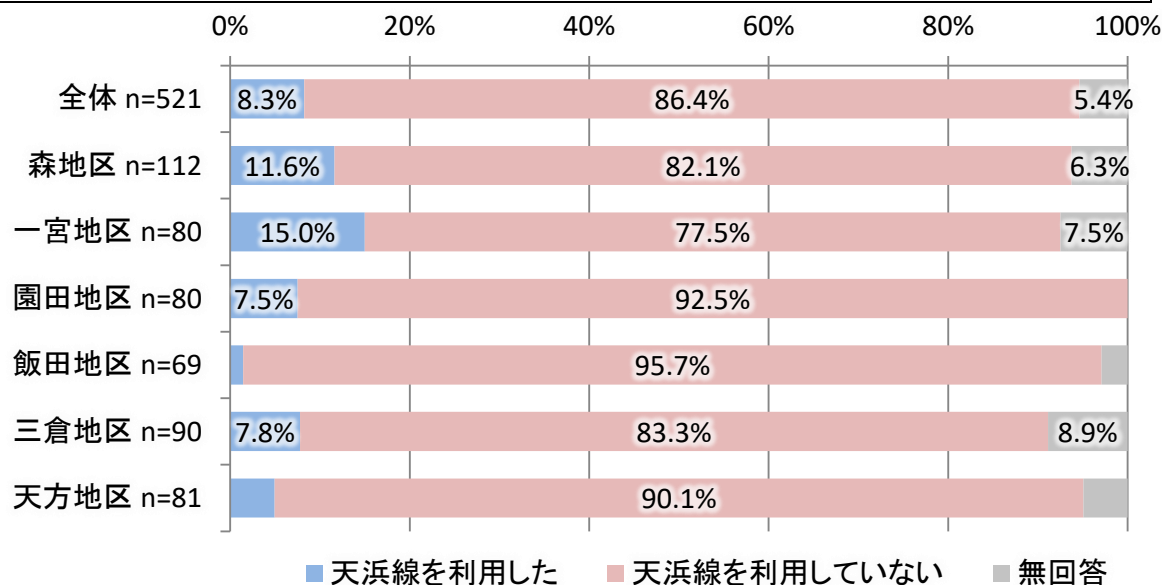


図 過去 30 日以内の町営バスの利用(地区別)

24) 【6-2】過去 30 日以内の天浜線の利用

- ・過去 30 日以内の天浜線の利用では、「天浜線を利用していない」が 86.4%と最も高く、次いで「天浜線を利用した」が 8.3%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「天浜線を利用していない」は飯田地区が 95.7%と最も高く、次いで園田地区が 92.5%と続いている。

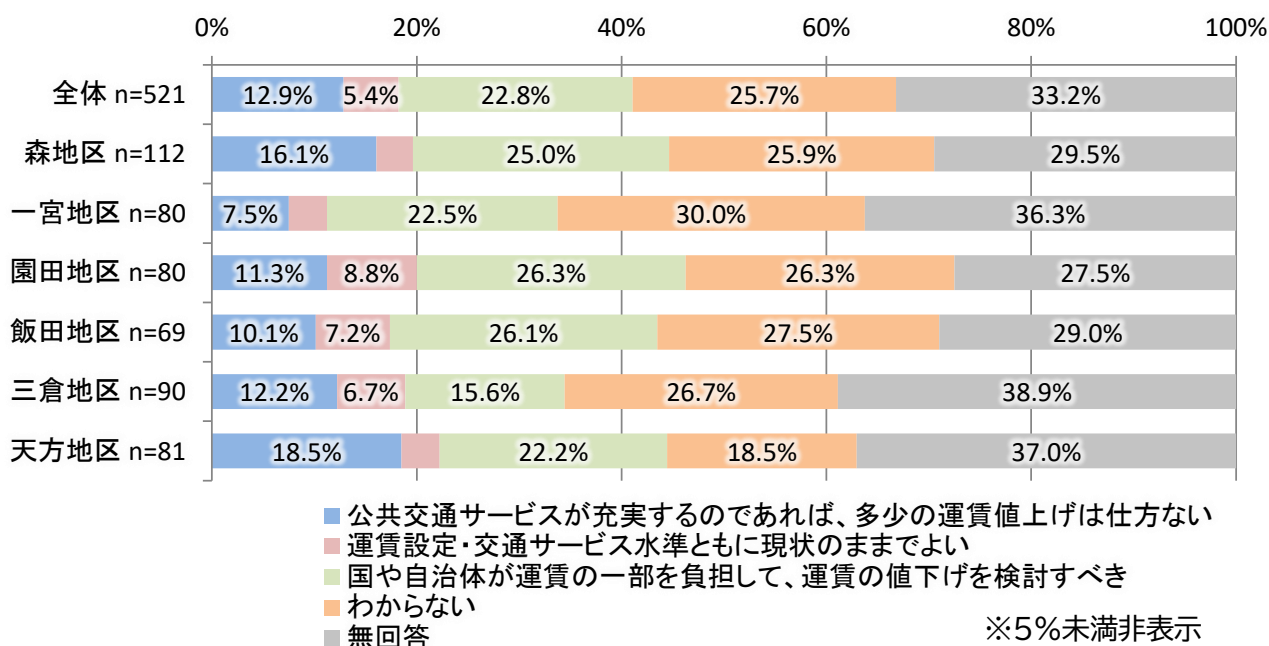


※5%未満非表示

図 過去 30 日以内の天浜線の利用(地区別)

25) 【7-1】運賃設定の感覚について

- ・運賃設定の感覚についてでは、「わからない」を除くと「国や自治体が運賃の一部を負担して、運賃の値下げを検討すべき」が 22.8%と最も高く、次いで「公共交通サービスが充実するのであれば、多少の運賃値上げは仕方ない」が 12.9%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「国や自治体が運賃の一部を負担して、運賃の値下げを検討すべき」は園田地区が 26.3%と最も高く、次いで飯田地区が 26.1%と続いている。



※5%未満非表示

図 運賃の設定間隔について(地区別)

26) 【7-2】公共交通全体の満足度

- ・公共交通全体の満足度では、「どちらとも言えない」が 38.4%と最も高く、次いで「不満」が 14.0%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「どちらとも言えない」は飯田地区が 47.8%と最も高く、次いで森地区が 43.8%と続いている。

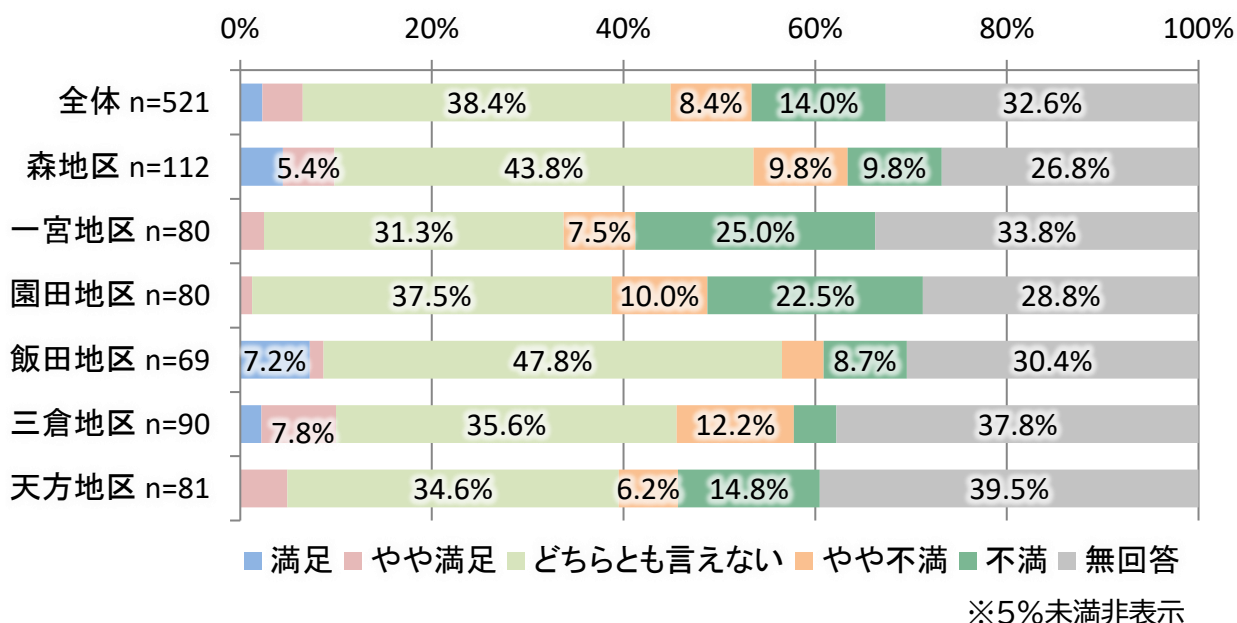


図 公共交通全体の満足度(地区別)

27) 【7-3-1】天浜線の不満(複数回答)

- ・天浜線の不満では、「運行本数が少ない」が 29.0%と最も高く、次いで「駅までの移動が大変」が 20.0%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「運行本数が少ない」は一宮地区が 38.8%と最も高く、次いで飯田地区が 37.7%と続いている。

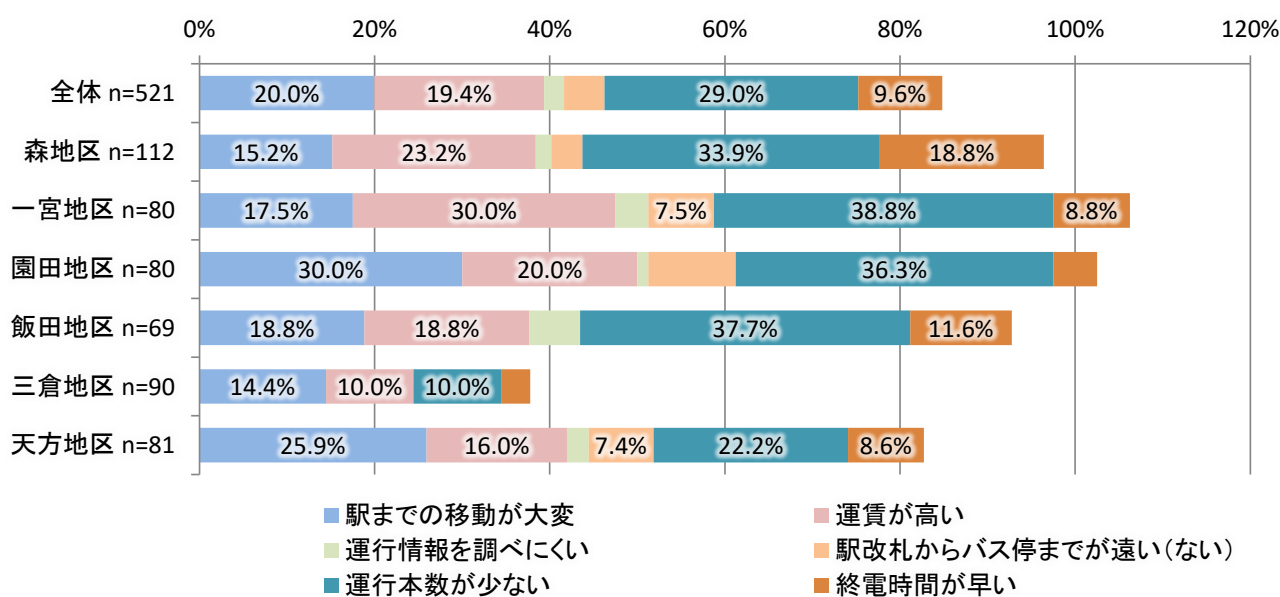
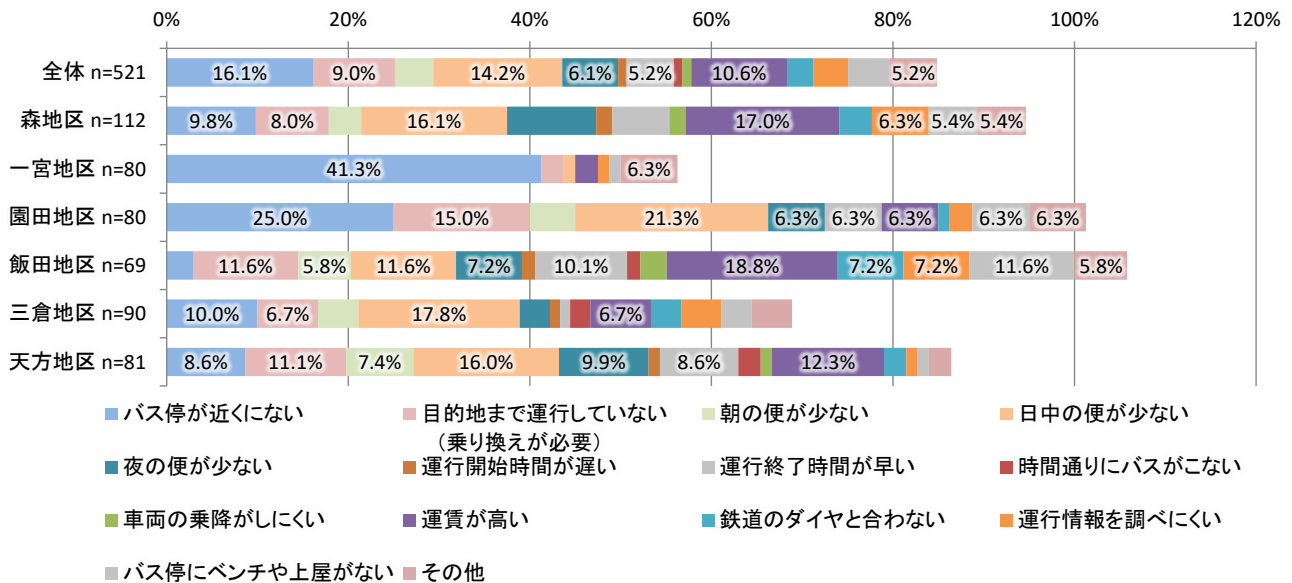


図 天浜線の不満(地区別)

28) 【7-3-2】秋葉バスの不満(複数回答)

- ・秋葉バスの不満では、「バス停が近くにない」が 16.1%と最も高く、次いで「日中の便が少ない」が 14.2%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「バス停が近くにない」は一宮地区が 41.3%と最も高く、次いで園田地区が 25.0%と続いている。

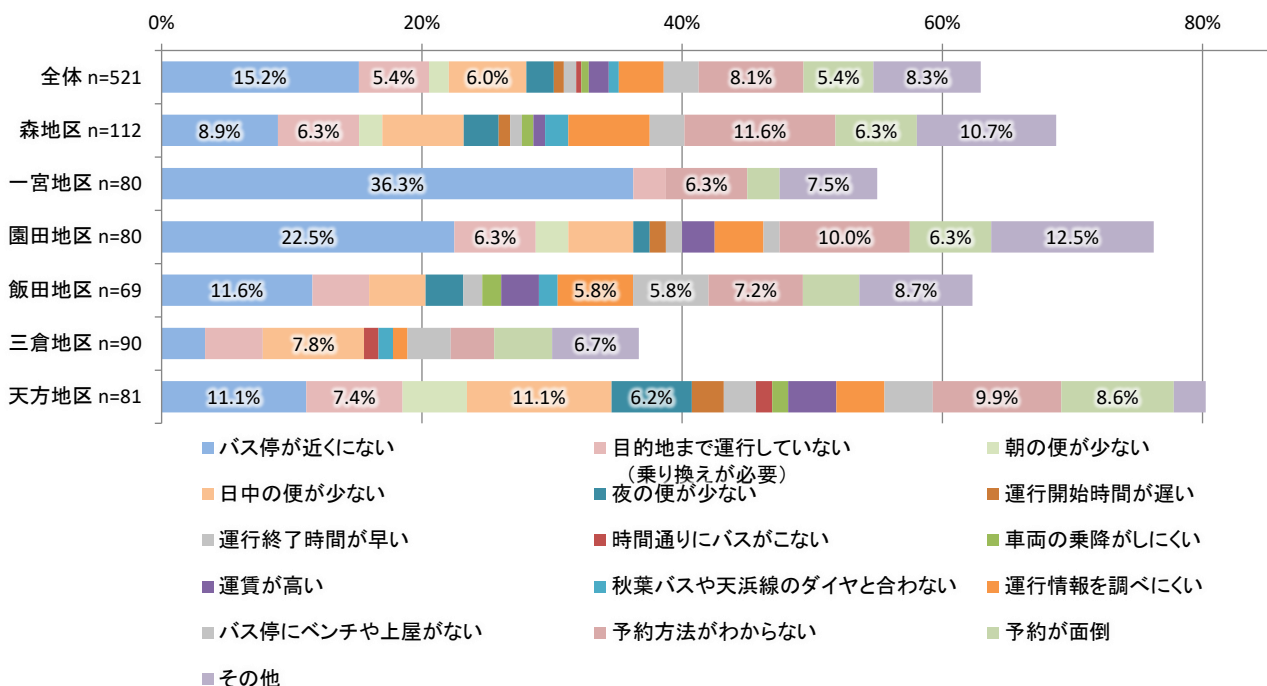


※5%未満・無回答非表示

図 秋葉バスの不満(地区別)

29) 【7-3-3】町営バスの不満(複数回答)

- ・町営バスの不満では、「バス停が近くにない」が 15.2%と最も高く、次いで「予約方法が分からない」が 8.1%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「バス停が近くにない」は一宮地区が 36.3%と最も高く、次いで園田地区が 22.5%と続いている。

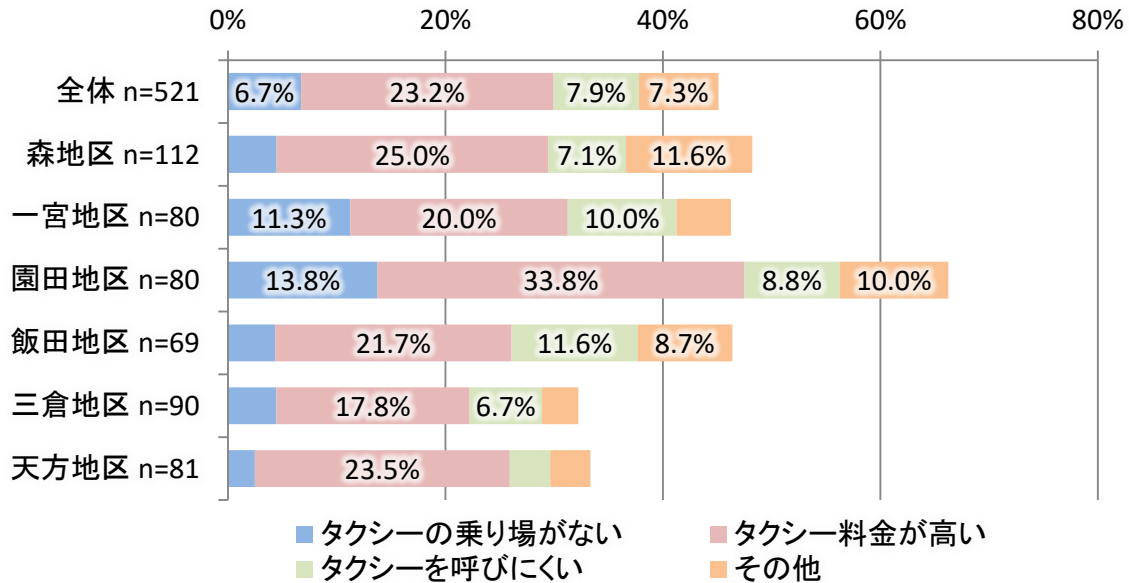


※5%未満・無回答非表示

図 町営バスの不満(地区別)

30) 【7-3-4】タクシーの不満(複数回答)

- ・タクシーの不満では、「タクシー料金が高い」が 23.2%と最も高く、次いで「タクシーを呼びにくい」が 7.9%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「タクシー料金が高い」は園田地区が 33.8%と最も高く、次いで森地区が 25.0%と続いている。

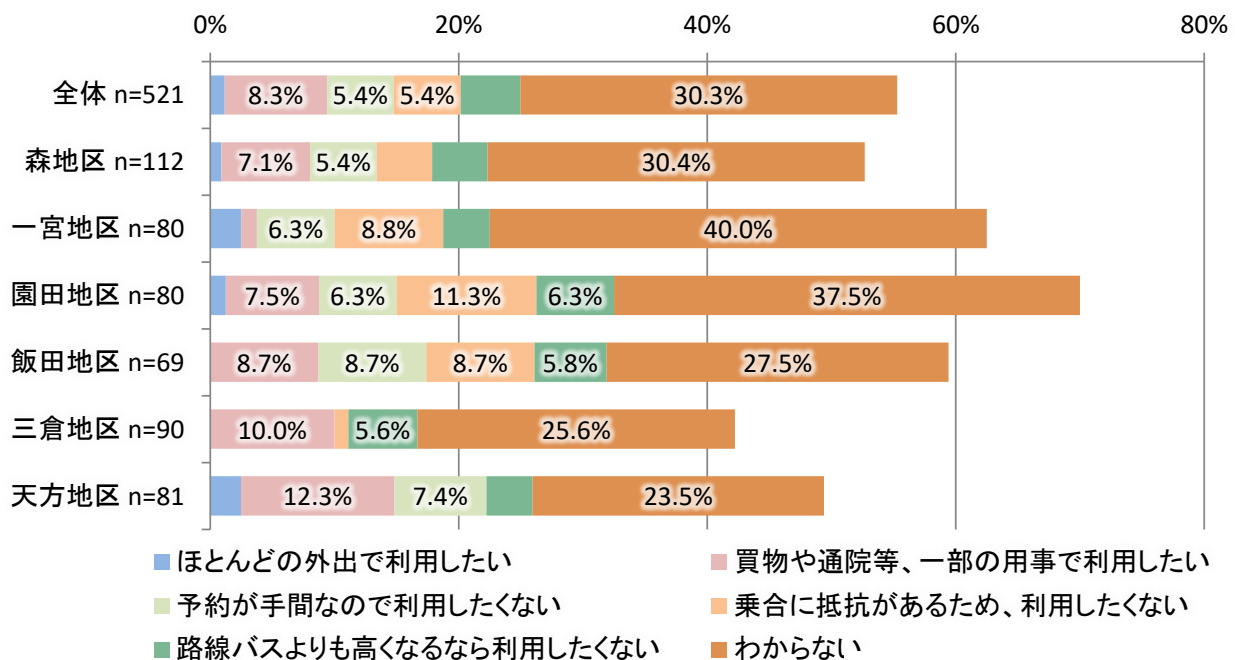


※5%未満・無回答非表示

図 タクシーの不満(地区別)

31) 【7-4】デマンドタクシーの利用意向

- ・デマンドタクシーの利用意向では、「わからない」が 30.3%と最も高く、次いで「買物や通院等、一部の用事で利用したい」が 8.3%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「わからない」は一宮地区が 40.0%と最も高く、次いで園田地区が 37.5%と続いている。

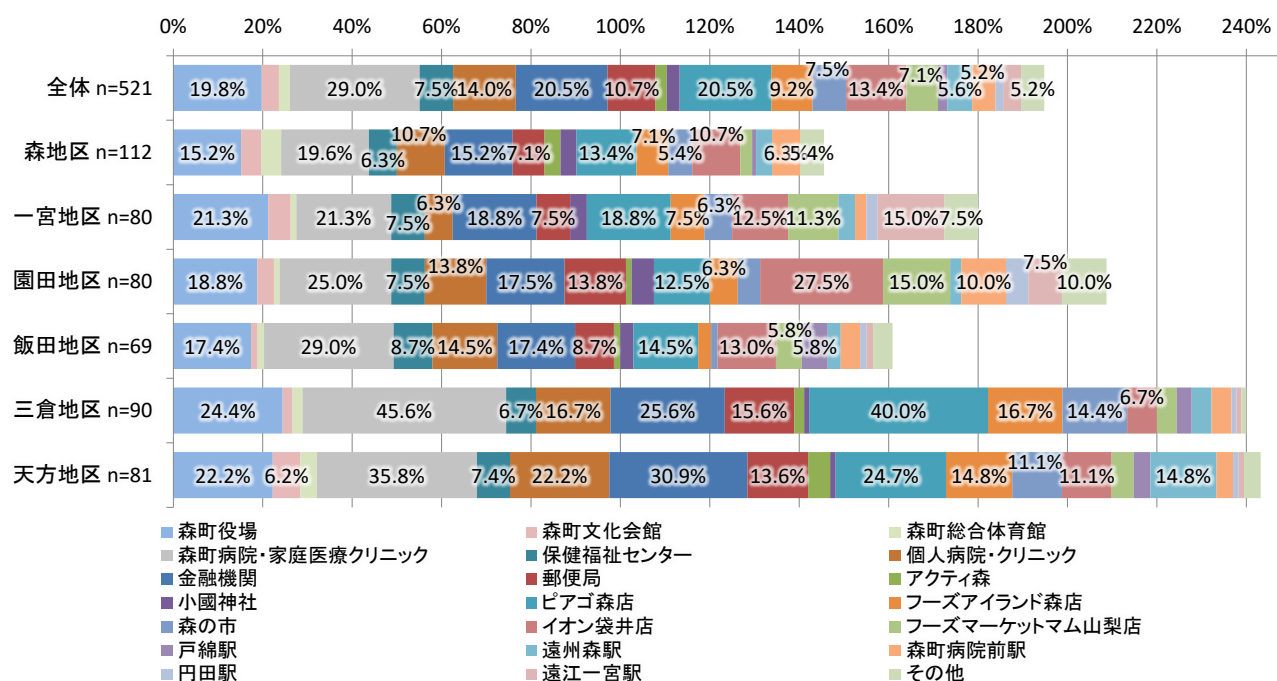


※5%未満・無回答非表示

図 デマンドタクシーの利用意向(地区別)

32) 【7-5】デマンドタクシーで想定される目的地(複数回答)

- ・デマンドタクシーで想定される目的地では、「森町病院・家庭医療クリニック」が29.0%と最も高く、次いで「金融機関」、「ピアゴ森店」が20.5%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「森町病院・家庭医療クリニック」は三倉地区が45.6%と最も高く、次いで天方地区が35.8%と続いている。

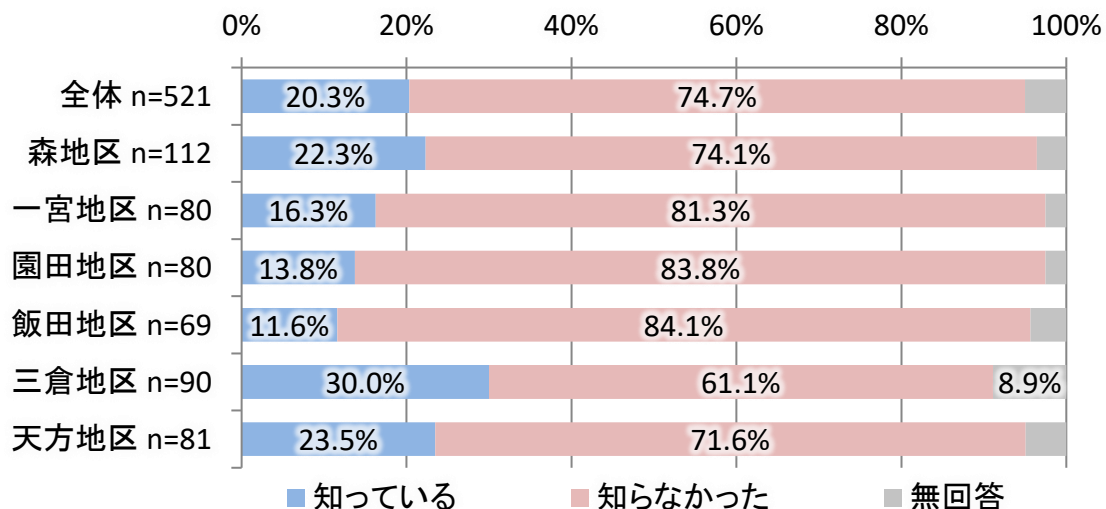


※5%未満・無回答非表示

図 デマンドタクシーで想定される目的地(地区別)

33) 【7-6】ボランティア移動支援の認知度

- ・ボランティア移動支援の認知度では、「知らなかった」が74.7%と最も高く、次いで「知っている」が20.3%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「知らなかった」は飯田地区が84.1%と最も高く、次いで園田地区が83.8%と続いている。



※5%未満非表示

図 ボランティア移動支援の認知度(地区別)

34) 【7-7】運転手としての活動意向

- ・運転手としての活動意向では、「活動してみたいとは思わない」が 58.2%と最も高く、次いで「町から報酬があるなら活動してみたい」が 15.5%と続いている。
- ・居住地域別にみると、「町から報酬があるなら活動してみたい」は飯田地区が 26.1%と最も高く、次いで一宮地区が 20.0%と続いている。

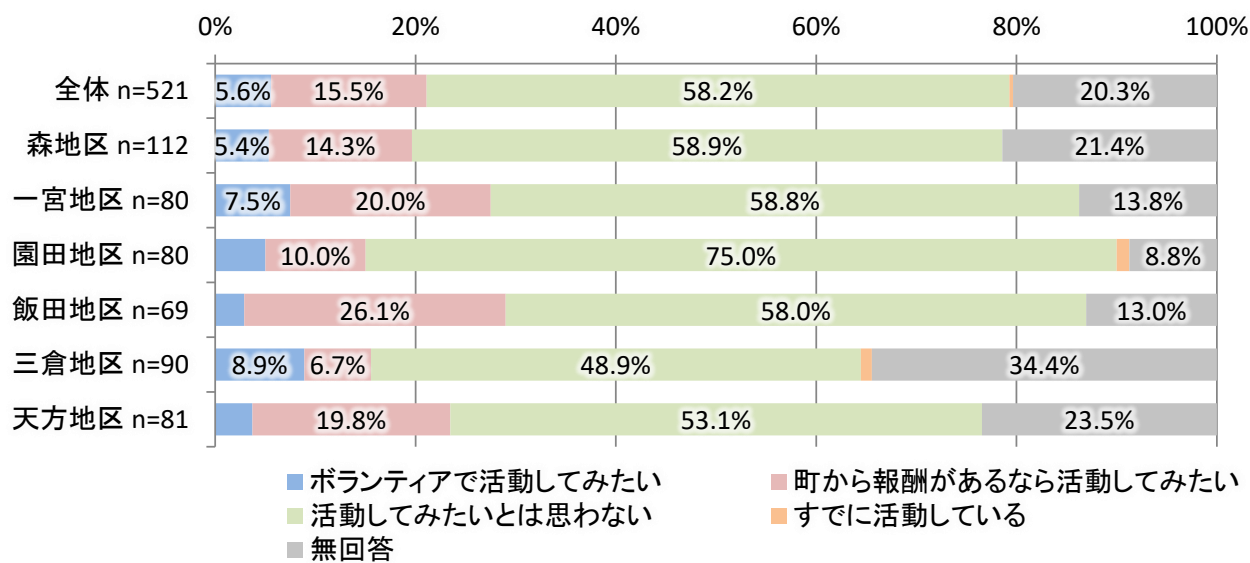


図 運転手としての活動意向(地区別)

35) 【7-8】自由意見

- ・自由意見は、公共交通全体に関する意見が 30 件程度、バスに関する意見が 18 件程度と多くみられた。
- ・公共交通全体に関する意見では、主に利便性向上への要望や、公共交通と連携した施策を要望する意見が多くみられた。
- ・バスに関する意見では、利用人数の少ない時間帯のバス車両の小型化に関する意見や買い物施設や病院など目的地を経由する運行への要望がみられた。
- ・そのほか、ボランティア移動支援に関する意見やデマンドタクシーに関する意見などもみられた。